

## 平成26年度 社会福祉法人いいたて福社会事業報告書

1. 平成26年度 社会福祉法人いいたて福社会事業報告書  
1～ 3ページ
2. 平成26年度 特別養護老人ホームいいたてホーム事業報告書  
4～24ページ  

ホーム事業報告書（全体）	4～ 7
各家生活報告（6ユニット）	8～19
医務室事業報告書	20～22
厨房事業報告書	23～24
3. 平成26年度 いいたて在宅介護支援センター指定居宅介護支援事業所事業報告書  
25～28ページ
4. 平成26年度 やまゆり保育所事業報告書  
29～30ページ
5. 平成26年度 事務室事業報告書  
31ページ
6. 研修報告  
32～36ページ

## 平成26年度 社会福祉法人いいたて福社会事業報告

### 1. 基本方針

原発事故から4年が経過、その影響は様々なかたちで本会の運営や経営を圧迫している。

しかし、そうした状況にあっても、本年度の基本方針でもある「将来へ向け、様々な課題と問題を解決し安定した基盤づくりを行う。」については、施設運営の要でもある人材確保が優先事項であるものの、現況下に於いてはかなり厳しい状況にあるため、現職員に対し処遇の見直しや助成事業を活用する等、維持継続に向けた基盤づくりに努めてきた。

### 2. 事業内容

#### ・理事会・評議員会・監事会の開催状況

理事会年6回、評議員会年4回、監事会年1回を基準に開催。

#### (1) 理事会の開催状況

回数	開催日	出席(人)		内 容
		理事	監事	
第1回	平成26年 5月26日	7	2	報告第1号 平成25年度第3回理事会議事録の確認について 報告第2号 諸事業報告について 議案第1号 平成25年度社会福祉法人いいたて福社会事業報告について 議案第2号 平成25年度社会福祉法人いいたて福社会一般会計収支決算について 議案第3号 社会福祉法人いいたて福社会定款の一部変更について 議案第4号 社会福祉法人いいたて福社会に就業する職員の就業時間等に関する細則の一部変更について 議案第5号 特殊浴槽購入及び既存機械移設の契約の締結について 議案第6号 社会福祉法人いいたて福社会評議員の選任について 議案第7号 福祉サービスに関する苦情解決体制に関する第三者委員の選任について
第2回	7月31日	6	2	報告第1号 平成26年度第1回理事会議事録の確認について 報告第2号 諸事業報告について 議案第1号 平成26年度特別養護老人ホームいいたてホーム拠点区分会計補正予算について 議案第2号 社会福祉法人いいたて福社会就業規則の一部変更について 議案第3号 社会福祉法人いいたて福社会評議員の選任について 議案第4号 社会福祉法人いいたて福社会の理事長の選任について
第3回	10月27日	7	2	報告第1号 平成26年度第2回理事会議事録の確認について 議案第1号 いいたてホーム駐車場舗装改修工事契約の締結について 議案第2号 いいたてホーム中庭デッキ改修工事契約の締結について 議案第3号 社会福祉法人いいたて福社会に就業する職員の就業時間等に関する細則の一部変更について
第4回	12月4日	6	2	報告第1号 平成26年度第3回理事会議事録の確認について 報告第2号 諸事業報告について 議案第1号 災害見舞金の支給について 議案第2号 積立金について 議案第3号 平成26年度特別養護老人ホームいいたてホーム拠点区分会計補正予算について 議案第4号 平成26年度やまゆり保育所拠点区分会計補正予算について

第5回	平成27年 2月23日	6	2	<p>報告第1号 平成26年度第4回理事会議事録の確認について</p> <p>報告第2号 諸事業報告について</p> <p>議案第1号 平成26年度特別養護老人ホームいいたてホーム拠点区分会計補正予算について</p> <p>議案第2号 平成26年度やまゆり保育所拠点区分会計補正予算について</p> <p>議案第3号 慶弔金並びに災害見舞金に関する規程を新たに設けることについて</p> <p>議案第4号 社会福祉法人いいたて福祉会就業規則の一部変更について</p> <p>議案第5号 いいたてホーム非常用照明器具交換工事契約の締結について</p> <p>議案第6号 平成27年度社会福祉法人いいたて福祉会事業計画(案)について</p> <p>議案第7号 平成27年度社会福祉法人いいたて福祉会一般会計収支予算(案)について</p>
第6回	3月27日	6	1	<p>報告第1号 平成26年度第5回理事会議事録の確認について</p> <p>報告第2号 諸事業報告について</p> <p>議案第1号 特別養護老人ホームいいたてホーム設備機器保守点検委託契約の締結について</p> <p>議案第2号 介護保険対応コンピューター及びコンピューターソフト等物品購入契約の締結について</p> <p>議案第3号 社会福祉法人いいたて福祉会評議員の選任について</p> <p>議案第4号 社会福祉法人いいたて福祉会給与規則の一部変更について</p> <p>議案第5号 社会福祉法人いいたて福祉会臨時雇用職員管理規則の一部変更について</p>

(2) 評議員会の開催状況

回数	開催日	出席(人)		内 容
		評議員	監事	
第1回	平成26年 5月26日	10	2	<p>報告第1号 平成25年度第3回評議員会議事録の確認について</p> <p>報告第2号 諸事業報告について</p> <p>議案第1号 平成25年度社会福祉法人いいたて福祉会事業報告について</p> <p>議案第2号 平成25年度社会福祉法人いいたて福祉一般会計収支決算について</p> <p>議案第3号 社会福祉法人いいたて福祉会定款の一部変更について</p> <p>議案第4号 社会福祉法人いいたて福祉会に就業する職員の就業時間等に関する細則の一部変更について</p> <p>議案第5号 特殊浴槽購入及び既存機械移設の契約の締結について</p>
第2回	7月31日	10	2	<p>報告第1号 平成26年度第1回評議員会議事録の確認について</p> <p>報告第2号 諸事業報告について</p> <p>議案第1号 平成26年度特別養護老人ホームいいたてホーム拠点区分会計補正予算について</p> <p>議案第2号 社会福祉法人いいたて福祉会就業規則の一部変更について</p> <p>議案第3号 社会福祉法人いいたて福祉会の理事の選任について</p> <p>議案第4号 社会福祉法人いいたて福祉会の監事の選任について</p>
第3回	12月4日	11	2	<p>報告第1号 平成26年度第2回評議員会議事録の確認について</p> <p>報告第2号 諸事業報告について</p> <p>議案第1号 災害見舞金の支給について</p> <p>議案第2号 積立金について</p> <p>議案第3号 平成26年度特別養護老人ホームいいたてホーム拠点区分会計補正予算について</p> <p>議案第4号 平成26年度やまゆり保育所拠点区分会計補正予算について</p>
第4回	平成27年 2月23日	12	2	<p>報告第1号 平成26年度第3回評議員会議事録の確認について</p> <p>報告第2号 諸事業報告について</p> <p>議案第1号 平成26年度特別養護老人ホームいいたてホーム拠点区分会計補正予算について</p> <p>議案第2号 平成26年度やまゆり保育所拠点区分会計補正予算について</p> <p>議案第3号 慶弔金並びに災害見舞金に関する規程を新たに設けることについて</p> <p>議案第4号 社会福祉法人いいたて福祉会就業規則の一部変更について</p> <p>議案第5号 いいたてホーム非常用照明器具交換工事契約の締結について</p> <p>議案第6号 平成27年度社会福祉法人いいたて福祉会事業計画(案)について</p> <p>議案第7号 平成27年度社会福祉法人いいたて福祉一般会計収支予算(案)について</p>

(3) 監事会の開催状況

開催日	出席(人)	内 容
平成26年 5月22日	監事 2名	・平成25年度社会福祉法人いいたて福祉会事業報告について ・平成25年度社会福祉法人いいたて福祉会一般会計収支決算について ・理事会及び評議員会議事録について

・役員研修等

- 関係機関が主催する役員研修会に参加。
- 県等主催の役員研修に参加

## 平成26年度 特別養護老人ホーム事業報告書

### 1. 基本方針について

震災から4年が経過した現在でも、職員は減少しており、平成26年7月には更に1ユニットを閉鎖、6ユニットでのスタートとなった。

顔なじみの関係のなかで、「信頼関係」とは別に「馴れすぎ」の介護に悩みながらも、「諦めないケア」「利用者本位のケア」を多職種間と連携を図り、「生活の質を下げない」ように取り組んできました。(個別ケアの取り組みとプライバシーの保持、家族同様の気心しれた関係づくりや、日々のケアを通して振り返る意識を持てるようにしてきた。)

震災後は、職員に採用されても、すぐに退職してしまう流れがあり、その度に、職員は、仕事継続への不安がでていました。しかし、今年3名の方が採用され継続勤務していることで「ホーム継続」の安堵感に繋がっていると思います。

また、「馴れすぎ」の関係(言葉づかい)にも、飯館弁でない会話が、逆に職員への刺激となり、言葉づかいに対する「意識」が高まるきっかけともなった。

他の施設経験のある職員から、これまで自分達がつくりあげてきた「いいたてホーム」のケアの評価について、“質の高さと雰囲気素晴らしい”と聞かされ、自分達が行ってきたケアや方向性に自信を持つことができた。

そんななか、8月に利用者の賀寿をお祝いすることができたことは、職員の励みとなり、寄り添うケアの大切さを実感した。

また、3月には新たに3名の入居者を迎えることができました。当初は職員数の問題から不安もありましたが、馴れてしまった介護から脱却するには、良いきっかけとなり、機能向上や生活の質をあげるケアを再認識させられ刺激ともなりました。

いいたてホームは、利用者や職員が共存している「生活の場」であり、そこは、原発事故から守らなければならない「安全・安心」の場であり、できるだけ普通に過ごせるよう努めてきました。結果、笑って過ごして頂けていることからみれば、概ね基本方針の目的は達成できていると思います。

#### ① 重度化への取り組み

ご利用者にとっての1年は変化も著しく、特に今年度は、元気で自立していられた方が、突然の疾病や高齢に伴う身体機能の低下、認知症状の重度化と日々の生活が大きく変わりました。

このことから、如何に苦痛なく安楽に過ごせるか「食事」「排泄」「入浴」のケアは基より、孤独にさせないためのケアと繋ぎ合わせ、多職種間との連携を図りながら、寄り添えるケアに取り組み、看取りの時が訪れた時には、ご家族の方に宿泊して頂き、最期の一呼吸まで一緒の時間を過して頂きました。

また、心身機能の維持のため、日々の生活リハビリを取り入れ、今行えていることへのサポートや、機能維持向上のためのレクリエーションリハビリ等、生活にメリハリや楽しみを見出せるよう「自立支援」への取り組みを行ってきました。

#### ② 利用者の暮らしに寄り添うケア

少しでも普段の生活が営め、地域社会への繋がりを継続していくため、春・秋に近隣市町へ外食や買い物等を兼ねたドライブに出掛け、季節を肌で感じられるあたり前の生活環境作りを提供してきました。また、少しずつではありますが、家族の面会も増えてきており、ゆっくりと面会ができるよう配慮もしてきました。

ご家族と職員の信頼関係を深める目的として行われた「芋煮会とミニ運動会」では、車いす競争等を通し、職員と家族の垣根がより低くなったように感じ、ご家族の方から「職員にまかせっきりとなっていた」「少しでも足を運びます」との言葉を頂き、その後、面会時の職員との会話が増えてきています。

介護職員はご家族との間を取り持つ役目として、家族の方が施設に足を運んで頂けることで、結果、ご利用者の喜ぶ笑顔が見られ、ごく普通の生活が送られているのだと思います。

## 2. 具体的な取り組み内容

### ① 職員会議

年月日	議 題 ・ 内 容
H26 4.24	今年度の事業計画（ホーム、厨房、各家） 各家の取り組み、厨房会議報告
5.29	各家の取り組み、厨房会議報告、 各委員会より活動計画（口腔、入浴、排泄、リスクマネジメント、感染症対策）
6.27	各家の取り組み、厨房会議報告 各委員会～口腔ケア委員会（口腔ケアDVDにて勉強）入浴、委員会（菖蒲湯の実施について）、 リスクマネジメント（アクシデント集計報告、体圧分散・快適なベッド環境について） なんでも勉強会（医務室）「熱中予防強化月間について」
7.31	各家の取り組み、厨房会議報告 各委員会～リスクマネジメント（体圧分散、車いすの疑似体験勉強会について）、入浴委員会 （お風呂の日実施報告）、口腔ケア委員会（唾液腺刺激体操について）、感染症対策委 員会（手洗いについて） 研修報告「福祉職員 初任者研修」について
8.29	各家の取り組み、厨房会議報告 各委員会～口腔ケア委員会（口腔ケア体操（新バージョン）、リスクマネジメント（アクシデン ト集計報告） 研修報告「福祉職員 初任者研修」について 「県社協・老人福祉施設協議会介護職員研修会」について 「県社協・老人福祉施設協議会給食担当者研修会」について
9.25	各家の取り組み、厨房会議報告 各委員会～リスクマネジメント委員会（車いす乗車疑似体験アンケート、アクシデントのマネ ジメントについて）、排泄委員会（排泄用品の試供、消臭対策について）、入浴委員会（入 浴シートの見直し、入浴方法勉強会について）、感染症対策委員会（感染対策について） 研修報告「東北ブロック老人福祉施設研究会」について
10.30	各家の取り組み、厨房会議報告 各委員会～入浴委員会（お風呂日開催について）、排泄委員会（ラバー使用について）、リスク マネジメント（上半期アクシデント集計、今月の標語）、感染症対策委員会（インフル エンザ予防対策について） 研修報告「認知症高齢者対応研修」について 「ユニットリーダー研修」について
11.27	各家の取り組み、厨房会議報告 各委員会～感染症対策委員会（手指衛生について）、入浴委員会（お風呂の日について）、排泄 委員会（アセスメントシートの見直し、安楽体位について）、リスクマネジメント（車 いす・クッションの資料作成、アクシデント集計について） なんでも勉強会（医務室）「認知症とうつについて」
12.25	各家の取り組み厨房会議報告 各委員会～入浴委員会（お風呂の日実施報告について）、感染症対策委員会（ノロウィルス・イ ンフルエンザ対策の実技）、排泄委員会（アセスメントシートの見直し、プライバシー について）、口腔ケア委員会（重点ケア者の経過報告、口腔ケア体操）、リスクマネジ メント（車いすクッション資料作成、アクシデント集計、今月の標語について） 研修報告「介護職員（4年以上）研修会」について
H27 1.29	各家の取り組み、厨房会議報告 各委員会～感染症対策委員会（インフルエンザ・ノロウィルス予防について）、リスクマネジ メント（内出血報告書、アクシデント集計について）、排泄委員会（排泄用品の保管方 法、排泄マニュアルについて） なんでも勉強（医務室）「安全な移乗方法とスカイリフトの検討」、「言葉使いについて」
2.26	各家の取り組み、厨房会議報告 各委員会～リスクマネジメント委員会（内出血報告書使用、アクシデント集計） ホーム災害訓練について 3/11実施について
3.26	各家の取り組みと1年間の生活報告 厨房会議報告、 各委員会より事業報告

## ② 家長会議

各家（ユニット）の家長が、現状の業務や勤務体制の見直しの検討の場となりました。直面した問題に、現場レベルで話し合う内容は具体的なものとなっていました。

開催日	内 容
H26 4.12	・年間活動計画について ・ユニット勉強会について ・年間行事について ・家族会総会について
5.20	・ユニットケアのアンケートについて ・外食ドライブについて ・緊急時の連携、対応マニュアルについて
6.18	・ホーム経営について（施設長より）・ユニット（くつろぎ）閉鎖について ・行事について（七夕・夏祭り）
7.29	・夏祭りについて ・賀寿祝（永井ミツ子様）について
9.11	・敬老会について ・ユニットケアアンケート取りまとめについて ・芋煮会について
10.16	・遅番の勤務時間変更について ・芋煮会 ・ミニ運動会について ・ユニット勉強会の進捗状況について
11.18	・年末年始の行事について ・感染症予防対策について
H27. 1.26	・業務の見直し（日勤者の業務内容について） ・次年度の事業計画について ・2.3月の行事について ・ユニット勉強会について
2.27	・日勤者の会議出席について ・家会議の在り方について・利用者のケア会議について ・防災マニュアル作成について

## ③ 行事

外出に制限がある環境の中で、少しでも季節を感じて頂けるよう取り組んできました。

また、外出できない方へも、できる限り、室内行事にはベッド移動等を行い参加して頂きました。そして、孤独感を感じさせないケアと少しでもご利用者の笑顔を引き出せるよう努めてきました。

### H26 年度行事内容

月日	内 容	場 所	参加者
4.27	家族会総会 花見昼食会	各ホール・ユ ニット	ご家族 35名
5.22 23	外食ドライブ	南相馬市 ジャスモール	其々9 名
7.6	七夕昼食会	西・北棟 ホ ール	利用者 全員
7.13	お風呂の日	西棟特浴 西棟ホール	利用者 16名
7.25	買い物外出	川俣町 靴店・食堂	利用者 3名
8.3	夏祭り	西棟ホール	全員
9.15	ホーム敬老会	西棟ホール	全員
9.29	バスハイク	川俣町	
10.8 17	外食ドライブ	月舘町	

10.22	停電に合わせ 寿司屋食	午前中の停電に合わせ、西棟ホールで調理員が握り寿司を握ってくれました。	西棟ホール	全員
10.24	バスハイク	外食ドライブに参加出来なかった利用者を中心に、短時間でのドライブに出掛けました。体調を見ながら、ゆっくりと村内の秋の景色を眺めてきました。	村内	
11.1	ホーム芋煮会 ミニ運動会	ご家族と共に運動会・芋煮会で交流を深めました。また、今年は職員全員参加、職員も利用者もご家族の方も一緒に楽しめる種目とし大いに盛り上がりました。	東棟ホール	全員
11.13	屋台風 「ラーメン屋」	ホールの一部をラーメン屋台風にし、昼食時間に合わせラーメン等を味わって頂く。味噌、醤油、塩好みのスープを注文、美味しそうに頬張っていました。	西棟ホール	全員
11.18	売店	事前に職員が色々な物を買出し、お店のように品物を並べ「買い物」を楽しんで頂きました。	各ユニット 各棟ホール	全員
11.30	お風呂の日	今年2回目のお風呂の日。今回は柚子とリンゴを浮かべ、季節感を感じ取って頂き、湯上りには漬物やおでん、甘酒等を食し、ゆったりと寛いで頂きました。	西棟特浴 西棟ホール	12人
12.21	クリスマス会	職員によるハンドベル演奏とサンタクロースからプレゼントが渡されました。昼食には、厨房手作りのピザやフライドチキンを美味しそうに頬張っていました。	西棟ホール	全員
12.26	餅つき	今年は臼と杵を新調、ホールで餅つきを行いました。職員が餅をつき、利用者が掛け声、仕上げに利用者が千本杵で餅をつきました。今年は滑らかな餅が出来上がり、鏡餅とあんこ餅、汁餅等頂きました。	西棟ホール	全員
H27 1.2	新年会	新年の初顔合わせをホールで行う。職員の余興(大黒舞、花笠音頭、よさこい)で、新年をお祝いし昼食を兼ねての交流会を行いました。	西棟ホール	全員
1.14	団子さし	季節感を味わって頂くため、この時季に団子さしを行う。色とりどりの団子を丸め、茹であがった団子をミズ木にさし各家に飾りました。	西棟ホール	
2.3	節分「豆まき」	職員で今年の年男、年女の方に豆を捲いてもらう。また、男性職員が鬼に扮し各家を回り、ご利用者は鬼めがけて豆を投げ厄払いをしました。	各ユニット 各棟ホール	全員
3.1	ひなまつり会	昼食会をホールで行う。厨房職員がホールにて、握り寿司と潮汁(はまぐり)を調理し、目の前で出来上がるのを楽しみ、頂きながら節句のお祝いをしました。	西棟ホール	全員

### 3. 一年を振り返って

震災から4年、震災前11あったユニットが現在では6ユニット、入居者数も43名と縮小しつつも存続できているのは、入居者の「生活を守る」との使命感と「笑顔と喜び」に助けられている達成感であり、職員一人ひとり想いがあるからだと思います。

毎年、一年を振り返り思うのは「また1年間継続できた」との安堵感。今も人員にゆとりはなく、年齢層も他の施設は20～30歳代と聴きますが、当ホームでは47歳と、とても高くなってきています。今の人員数から一人でも欠けると、現在の6ユニットの運営も難しくなってしまう、職員にとっても意識低下に繋がりがねません。

こうした状況下においても、ご利用者の重度化となった身体介護に愚痴一つこぼさず、コールが鳴れば走って駆け付け、入浴が出来ない方には清拭や足浴を、ベッドで寝かせきりにしたくないとのことから必ず離床介助をする等、決して手を抜かない介護の姿。そして、年齢層が高い分、コミュニケーションや味のある優しさがご利用者に伝わっているように感じます。

これからも、ご利用者の思いを感じ取り、寄り添ったケアを大切に、職員一人ひとりが意識を高く持ち続け、施設内で「家族」のように過ごせる関係作りと、ご利用者の“とびきりの笑顔”が見られるようなケアに努めていきたいと思えます。



## 1. 生活全般について

今年度は外気浴や外出の機会が増え、震災前に少し戻った様に感じました。お天気の良い日には普通に外に出て日光浴。輪をつくり座りながら脚を伸ばし皆さんとお話をしたり、大きな声を出すことで腹筋運動や顔の運動をする事が出来ました。震災前はあたり前のようにできていた事が、震災後は屋外に出ることへの制限があり苦痛を伴いました。窮屈な生活からやっと元に戻った喜びを声に出す事が出来ませんが、身体で大きな喜びを感じていたと思います。

また、以前は、ご家族が見えた際に近況報告をしたり、看護師を交えての意見を交換する事も出来ましたが、震災後は村外からの面会となり足が遠のいている様に思えたり、ご家族の方も高齢となっている為か、以前の様に気軽に面会に来る事が出来ないのかなとも感じました。

今年も村の文化祭に作品を出品し、パルセ飯坂まで作品を見に行く事が出来良かったと思います。他の方の作品や演芸、そして手打ちそばを食べる事も出来ました。満足そうな笑顔が忘れられません。まだまだ現役で作品を残して欲しいと思います。

この家で賀寿を迎えた方がおり皆でお祝いをしました。ご主人も天国で喜ばれた事と思います。この方を通して職員間の一致団結が発揮され、逆に素晴らしいプレゼントを頂く事が出来ました。また、もう一人白寿を無事迎える事が出来ました。息子さんがお祝いに駆けつけてくれたのにびっくり（内緒にしていたので）と嬉しさで、始終「笑顔・笑顔」でした。ご本人からは「100歳まで生きられそうだ」との発言も聞かれ、来年の賀寿祝いがとても楽しみです。

## 2. 食事・入浴・排泄について

### ①食事

他職種の方々と熱のこもった話し合い（個々にあった食事形態・体調維持・栄養バランスの考慮）をし、実践することより「口から食べる」喜びを感じて頂けたかと思います。

家料理をする事によって、其々の好みが変わり、それらを提供することで家族的な雰囲気が出来たと思います。

ある方は、食事形態を変更した事により、自分で摂取する事が上手くなり、全量摂取するまでになりました。

食前体操では、職員はするものの、ご利用者は見ているだけでしませんでした。もっと、個別にマッサージ等を取り入れて実施すれば良かったと反省の材料もありました。

### ②入浴

個別に合った入浴剤やクリームを使用する事により、皮膚トラブルも軽減され、掻き傷もあまり無かったようです。

入浴中は、安全・安心に心掛け介助していましたが、いつの間にか内出血や表皮剥離をしてしまった事もあり、「痛み」等を与えてしまい申しわけないと思う事もありました。

個々に合った入浴方法や補助具の使い方について、適宜話し合いを持ち、実技を見せ合う事で、より統一したケアを提供する事が出来たと思います。

入浴後の整容は、自分で出来る方は鏡を見ながら自分でして頂きました。鏡を見る事により身体の変化を捉える事が出来良いことだと思います。

入浴で二人対応を要する方に対しては、他のユニットの協力を得、安全に入浴介助を行うことが出来たと思います。

これからもお互いに協力し合いながら「ご利用者がゆったりと温まる」お風呂を楽しんで頂

きたいと思います。

### ③排泄

個々に合ったパットを使用し、皮膚トラブルを軽減することが出来たと思います。

皮膚トラブルのある方の排泄パターンを掴む為、2週間程2時間おきに排泄交換を試み、結果を基に、日中は2時間おきの交換、夜は排泄交換時間以外にも交換することで皮膚トラブルの予防をしています。どのようにしたらよいか模索している時は大変な時もありましたが、「ご利用者を知る」良い機会となり、私達も初心に戻る事が出来ました。

トイレでの排泄をされていなかった2名の方が、トイレに座り排便をする事ができるようになりスッキリ・さっぱりとしていた様に見えました。また、プライバシーにも配慮することで、羞恥心も軽減され笑顔も見られました。

尿臭のある方の下衣をその都度交換した事により臭いが軽減されました。また、全衣類の洗濯を大型洗濯機使用からユニットの洗濯機使用に変更したことにより、衣類の傷みも少なく、柔軟剤の香りも引き立ち良かったと思います。

排泄対応時に関する言葉使いは、聞こえが悪い方になると段々と声が大きくなってしまいう時もありましたが、職員間では周りに配慮し気をつけて業務にあたってきました。

### 3. 家内のユニットの取り組みについて

今年も昨年と比べ大きな変化も見られませんでした、「食」に対しては、皆さんとても楽しみにしており良かったと思います。

9名の方が経口摂取されています。食事の時間になると普段は広いと感じるフロアも皆さんが揃うと狭く感じられます。本当は、ご利用者の会話が多い食事時間だと良いのですが、中々会話をする事が困難である為、個々の態度や様子を見て、介護員が代わりに多く会話することで、とても賑やかで楽しい食事時間を設ける事が出来たと思っています。

フロア内の設えや季節毎の装飾を工夫することで、ご利用者と共に考え楽しめたと思います。

また、寒い2月に「ふきのとう」や「福寿草」を持ち込み、温かい施設での成長を楽しむ事も出来ました。外は雪でも室内は温かく、日に日に成長していく速さに感嘆し、共通の話題を持つことにより、自然と共感を味わえコミュニケーションを図る事が出来たと思います。

### 4. 行事の取り組みについて

今年度は西・北棟での行事が多く、普段ベッドで過ごされている方も参加する事が出来たので良かったと思います。

ホームでのドライブ・花見・外食が、ご利用者にマッチする内容で参加する事が出来ました。これらはストレス解消にも繋がりが良かったと思います。しかし、個人的に訴えている方に対してはスムーズに対応する事が出来なかったため、事前に上司と連絡を取り早めの対応が必要と思いました。

### 5. 一年を振り返って

年齢や身長差の少ない介護員が集まったユニットの為か、物を置く場所やケアの仕方、悩み、個々の考え等にぶつかり合いながらも、最終的には、お互いの協調性（強調性）を活かし、ご利用者に少しでも満足して頂ける様なケアをして来れたのではないかと考えています。

## 1. 生活全般について

震災後、入居者もなく、7月からくつろぎの家が閉鎖され、やすらぎの家には2名のご利用者が異動してきました。

ある方は、息子さんと娘さんに温かく見守られながら永眠されました。その方のケアには、普段行っているケアに加え、更に慎重さが求められていたことから、業務に追われる介護ではなく、時間を掛ける介護を学ばせて頂きました。

また、定期異動により3名の職員が入れ替わり、新しい風が家内に入りました。

終末期を迎えていた方に対しては、皆で統一したケアに力を入れ、一丸となって最期を看取ることが出来ました。

また、普段はベッド上で休んでいることが多い方が、話し掛けてくれ、それに応えることで静かだったフロア内に笑い声や笑顔があり、私達に癒しを与えてくれました。

自立していて安心と思っていた方の急な体調変化に、戸惑いを感じ、私達もどのように対応したらよいか、ケアの内容がこれでいいのか、精神面でのケア内容はと、毎日が経験のない冒険のような日々が続きました。その都度、看護師にアドバイスを受け、他ユニットとの協力を得て対応していますが、今も毎日が勉強だと思う日々を過ごし、今後の課題でもあると感じています。

そして、忙しい中であっても、ご利用者と触れ合う時間を作ろうと、ティータイムには寄り添い過ぎよう、また、ベッドをフロアに移動しコミュニケーションを図ろうと努めてきました。

居室・フロア環境づくりには、季節を感じて頂くよう、花や装飾品の配置に努め、ソファや炬燵の設えを行い快適に過ごして頂くよう努めました。また、朝のラジオ体操では、職員が行っているのを見て、普段動かさない手を少しでも動かそうとされる行為があり、意識づけとなっているように思いました。

ご家族は遠くから定期的に面会に来てくれました。ご家族様の負担もあったと思いますが、ご家族と過ごす一時は、普段と違った表情で、楽しく過ごすその光景を見ると、とても微笑ましく私達も感謝する思いでした。

3月から1名の方が入居され、フロア内が一気に明るくなり、また、良い刺激になり、会話の中でも笑がみられるようになりました。

## 2. 食事・入浴・排泄について

### ①食事

一年を通して、食事方法に悩み、試行錯誤しながら、個々の状態に合わせた食事形態の見直しと、満足して食べて頂く喜びを感じ取って頂くよう努めましたが、殆どの方が要介助者であり、ゆっくりと時間をかけ楽しみながら食べて頂くことには困難であり、つい業務的になってしまった事が多々ありました。

「美味しい」と言って食べてくれる方には、少量でも満足して頂けたこと、良い表情と笑顔がみられたこと、少しの時間でも会話をしながら楽しく過ごす事が出来たことは良かったと思いました。

また、身体にサインとして栄養障害が出た方には、摂取量の表を作成し、食欲を増すよう嗜好品を聞きながら対応したところ、現在は、食欲も出てきて、落ち着きベストな状態となっています。

家料理については、定期的には行えず、数回しか出来ませんでした。全員に食べて頂くことが出来るとても良かったと思います。

季節毎の行事食では、普段とは違う雰囲気の中で食べる喜びを感じ、食事量も増え美味しくそうに頬張っていました。また、通院時の外食が楽しみな方への継続が出来たらと考えていましたが、レベルダウンが激しく、対応することが困難で少し心残りとなってしまいました。

食前体操の励行により、食べる前の準備と云う意識になり、普段はまったく意識しない方も口を動かそうと頑張っています。色々なことがありましたが、改めて、食べる楽しさと続ける難しさを実感しました。

## ②排泄

プライバシーに配慮（羞恥心に気配り、対応や言葉使いに注意）した排泄交換を行い、皮膚トラブル防止に努めると共に、随時パットの見直しと清潔保持を行い、快適に過ごして頂けたことと思います。

排便コントロールの難しい方には、看護師と相談しトイレに座り快便できるよう促すことで、オムツゼロに向けた対策をすることが出来、併せて消臭対策にもなりました。

## ③入浴

個々の状態に合った入浴方法を随時見直し、他ユニットとの協力のもと、安全・安心し、ゆったりと入浴して頂くことが出来ました。また、入浴剤や洗身用品の選択により快適な入浴と、皮膚トラブルのある方に対しては、保護カバーの対応や入浴後のローションの対応により、全身保湿に気を配ることが出来ました。体調により入浴できない方に対しては、足浴等を行い清潔保持にも努めることが出来ました。

## 3. 行事の取り組みについて

定期的なレクリエーションに参加することで、瞬間的に手を動かす動作をされる等、普段見られない光景を見ることが出来ました。また、それを周りで見ているご利用者も、他のご利用者の動きを目で追い参加しているようでした。

季節毎の行事では、全員の参加に努め、楽しんで頂くことが出来ました。また、普段寝たきりの方は、離床している時間が長いと疲れもみられることもあり、楽しんで頂くことが出来ない事もありました。

ご家族参加の行事では、多くのご家族様に参加して頂き、楽しく過ごすことが出来たと共に、ご利用者の表情を見て、安心して帰られたご家族の方を見られたことがとても印象に残り、私達も嬉しく、今後も精一杯「がんばろう」と思いました。

夏祭りには、ご利用者と職員が浴衣や甚平姿で盛り上げ、また、沢山の余興に楽しく過ごす事が出来ました。

## 4. 一年を振り返って

初めは少人数の中でもなかなか寄り添うことが出来ず、コミュニケーションも上手く取れず日々が過ぎてしまいました。また、重度化して行く方の日々の容態変化を目のあたりにし、日常のケアが如何に大切であるか、そしてケア内容を随時見直して行くことの大事さを教えられ、まだまだ私達も勉強不足だと感じさせられました。その中でも、加えて職員間の連携の大事さも痛感しました。今後、待機者が入居することを踏まえ、職員間の連携をより密にし、安心して過ごせる環境づくりに取り組む必要があると思いました。

## 1. 生活全般について

震災 4 年目を迎えましたが、以前変わらない環境の中で 2 名のご利用者がお亡くなりになりました。同時にくつろぎの家が閉鎖となり、3 名のご利用者職員との異動もあり、新たなぬくもりの家が始まりました。

ぬくもりの家のご利用者は、比較的「自分の事は自分で出来る方が多いから良いのでは」と思われがちですが、中身は逆で、精神面でのケアが大変だと今更ですが痛感しました。

ご利用者に寄り添い、“共に笑い・楽しみ”を念頭に置き、如何に本当の笑顔を引き出すことが出来るのかが始まりでした。

9 月に長年闘病に伏せていた方が、沢山の方に見守られ亡くなりました。2 月には 18 年間入居されていた方が体調を崩され、前日得意の歌「ちん・・・まん・・・」を振る舞い、皆さんを爆笑の渦に巻き込んだばかりの出来事でした。また、ベッド上で過ごされ意思疎通が困難な方が、「話しかけたら返事があった」と嬉しそうに話す介護員。別な方は「排泄交換の時に叩かれた・・・」と言いながらも、お座敷小唄と一緒に楽しみ、介護員が落ち込んだ時に慰めてくれました。本当に皆さん一人ひとりが役割を持ち無くてはならない存在の方ばかりでした。

また、職員もご利用者への想いが「この方にはこのようにした方が良いのでは」と、より一層、進歩に繋がった一年間のようなようでした。

## 2. 食事・入浴・排泄について

### ① 食事について

「今日の献立は何かな」と楽しみの一つ、いや、殆どが食事と言っても良いのではないかとも思っています。個々の食事形態やテーブルの高さ、配置、自助具の使い易さ、食器等、随時見直し楽しく食事を摂って頂けるよう努めてきました。

経管栄養の方に対しても体調を見ながら、一緒に食事を摂ることも継続しています。

また、ユニット勉強会を繰り返し、食事時のタオル使いを見直ししてナプキンに変更する等、小さな一歩を踏み出しているにもかかわらず、言葉使いで大きく後退してしまったのも見受けられました。声掛けされた方、声掛けした方がお互いに傷つく事の無いよう、ワンテンポ置いて、声かけが出来るよう心に余裕を身に付けたいと思います。

### ② 排泄について

この一年間で大きな進歩が見られたのは排泄だと感じました。

「ベッド上での生活が主流となってしまった方が、トイレで排便を済ませる」これまでも、くつろぎの家で経験がありましたが、看護師の協力の下、ぬくもりの家でもこれほどの成果が出るとはとても嬉しい限りで、それ以上にご利用者の表情が良く「何年か振りにトイレに座った」と少し興奮気味でお話される方や、周囲をキョロキョロと見回す方など様々でした。特にある方に対しては、職員の観察力を発揮「絶対にサインを見逃さないぞ」と小さなサインを捉えているようでした。今後もご利用者の体調を考慮しながら継続出来たらと思います。

### ③ 入浴について

体調に合わせての入浴方法、職員間での協力の下、安全・安楽に入浴が出来たのではないかと感じています。今年度は多種類の入浴剤を用い「今日のお風呂は緑色で匂いは何かな」と五

感を刺激、その一時を楽しみながらも、皮膚トラブル防止に優しいタオルを取り入れてきました。

衣類の洗濯については、加齢臭対策もあり、肌着以外は家で洗濯するようにしました。入浴後のケアについても直ぐに医務室で対応して頂き嬉しく感じています。

皆さんに「気持ち良い湯だなあ」と最後の最後まで、入浴させてあげられたらと切に思いました。

### 3. 行事の取り組みについて

年に一度の誕生日、毎年ながら来所されるご家族は限られているようでした。

そんな中で、あるご家族は、厨房手作りの誕生ケーキに感激され、面会の度にケーキの話題が出ています。目で楽しんだ後、口に入れた瞬間の表情が喜びに溢れているように感じました。今後も「これはどうやって作ったら良いの」と思えるようなケーキを厨房に注文するかも知れませんが、厨房手作りのケーキを楽しみにしたいと思います。

ホーム全体の行事についても、限られた時間の中で食事を兼ねたドライブ、配膳された食事を見て、ご利用者の目はお星様キラキラのようでした。

運動会では、本領発揮パン食い競争、夏祭りでの様々な模擬店で選び放題と喜んで頂けたのではと思います。また、家料理なども行い、お手伝い頂ける方にお世話になり、私達より上手で丁寧な包丁さばきを見せて頂きました。家料理では味付けの保証はなしでしたが「美味しいよ」と笑顔で食べて下さったのが印象的です。今後、行事等で、ご家族の方々の参加が増えるよう働きかけをしていきたいと思っています。

### 4. 一年間を振り返って

一日1杯のお茶を一緒に楽しむ。こんなの簡単じゃないと思えるような事が行えなかった。どうしてだろう。何を話して良いか分からない。時間が無い等。様々なことが思い出される。

この一年間を振り返り、前述のように数分で出来ることができなかったり、また、逆に日勤者が居れば、普段手を掛けられないお部屋の整理をしたり、フロアの設えなどを行う等、実施できたのもあります。

ぬくもりの家が他の家に負けてないと思っている事が一つだけあります。それは、ご利用者を愛しいと想っていることだと思っています。今後もこの思いを忘れず共に過ごして行きたいと思っています。

最後に、18年間入居されたご利用者が永眠されました。その日は93歳の誕生日でもあり、お別れ会と誕生会が同時でした。大好きだった「お座敷小唄」でお見送りが出来た事に対しては、「良かったよ」と目じりを下げて喜んでもらったのではないかとと思っています。

## 1. 生活全般について

今年度の家目標は、「ご利用者を尊重し、優しく、丁寧なケアを行ない、個々に合った生活をお手伝いする」ことでした。

せせらぎの家は、東棟から北棟のユニットに移動し、1年余りが過ぎました。ようやく9名での生活が始まり、居場所や生活リズムが整い、よりいっそう手厚いケアが出来ると思っていた矢先に3名の方がお亡くなりになりました。

また、7月には、西棟よりご利用者2名を迎え、それと同時に職員も4名変わりました。

先に異動されていた1名の方については、環境の変化に伴い、戸惑いから言動や行動に変化が見受けられるようになったことから、少しでも以前の環境に近づけようと、皆で試行錯誤し居場所作りに励みました。結果、自分の居場所が出来たことにより、次第に落ち着きが見られるようになりました。

年々、高齢に伴う体調の重度化は避けられないなか、朝のラジオ体操から始まり、レクリエーションに、なるべく参加して頂くなど、生活に活気を求めることで、極端な変化を避けられたように思います。また、居室での生活が多くなる方へは、音楽を聴いて過ごして頂いたり、状態が良い時には、離床しレクリエーションの場に向かい、賑やかな雰囲気味わって頂いたり、環境作りに気を配ってきました。

## 2. 食事・入浴・排泄について

### ①食事について

「口から食べること」の大切さを念頭に置き、体調に合わせ、看護師や栄養士と常に連絡を取りながら、本人の負担にならないような食事提供、経管栄養の提供が出来たと思います。

食前の「パ・タ・カ・ラ」体操は、介護員間で協力し合い行って来ました。介護員が声を出すことで、ご利用者さんも大きな声が出ていたようです。

また、口腔ケアも丁寧にいき、起床時に美味しく食事を摂って頂こうと口腔内を綺麗にしてからフロアへ移動しました。これからも、少しでも口から美味しく食べられる衛生の一環として努めて行きたいと思います。

### ②排泄について

個々に合った排便方法等を検討、トイレでの排泄を大事にして来ました。また、随時個々に合った排泄介助を行うことで、皮膚トラブルや臭いが軽減されたように思います。

また、環境衛生の一つとして、換気もまめに行い、汚物を新聞紙に包むなど、尿臭対策にも努めてきました。

### ③入浴について

高齢・重度化により皮膚も弱く、入浴後の内出血も見られました。特に、皮膚の弱い方には慎重に洗身や着脱をするように心掛けましたが、それでも内出血は出来てしまうこともありました。その件についてケア会議を行い、洗身用にムートンを使用することにしてからは、大分内出血が減りました。

また、ご利用者の状態を見ながら個浴が良いのか、機械浴が良いのかを検討し、ご本人の負

担にならないよう、安心して入浴して頂けるように努めて行きたいと思います。

スキンケア対策として、入浴用タオルを肌に優しいマイクロソフトタオルに変更し使用しています。乾燥肌の強い方には、保湿軟膏で対応したところ、服を脱いだ時に発生する白い粉が出なくなり良い状態になりました。

今後も、安全・安楽な入浴方法を介護員同士、話し合い勉強して行きたいと思います。

### 3. 行事の取り組みについて

ホーム全体の行事の取り組みの中で『外食ドライブ、七夕会、夏祭り、敬老会、紅葉狩り、ミニ運動会&芋煮会、クリスマス会、餅つき会、新年会、団子さし、節分（豆まき）、ひな祭り』と、震災前に行っていた年間行事を全て行なう事が出来ました。その都度、皆さんの笑顔を見る事が出来て「やって良かった」と思いました。

また、家料理も月1回は行ってきました。ご利用者と一緒に材料を刻み、調理を頼むと快く引き受けて下さり、楽しく料理作りをする事ができました。フロア中に良い香りが漂い五感の刺激になったようでした。

今後も、出来ることを大切に、活気ある生活が送れるようにして行きたいと思います。

### 4. 一年を振り返って

7月に、職員の異動があり、5名のうち4名が新しくせせらぎの家に配属となり、ご利用者に不安を与えてしまうのではないかと不安でした。

職員が変わっても、今まで通りの生活が送られるよう、日々の生活の様子を把握し、申し送りもしっかりと行い、情報交換も密に行なってきました。

また、ご利用者が困惑しないで生活が送れるよう、職員は休日の合間を利用し、事前に一人ひとりの生活の様子を把握することに努めてきました。ご利用者によっては、執着心や拘りが強い方がおり、異動になった当初は、受け入れることに戸惑いも感じました。また、あるご利用者が言葉をはっきりと話せないことや、上手く聞き取れない時もあり、職員の言葉が強くなる事もあり反省しなければならないこともありました。

本人の思いを受け入れるには、表情や動きから何をしたいのかを察知しなければならず、職員にも心のゆとりが無ければならぬと考えさせられたこともありました。

職員のペースに合わせるのではなく、ご利用者のペースに職員がお手伝い出来るよう、心にゆとりを持ちケアにあたりたいと思います。

高齢・重度化が進んでいるなか、特に大きなアクシデントも無かったことが幸いでした。

今後も、いつ終末期を迎えるか分かりませんが、もしそのような状況になった時でも、安楽に最期を迎えることが出来るよう、他職間と連携を密にし、“悔いのないケア”を行ないたいと思います。

ご利用者さんの気持ちに寄り添い、安心して生活が送れるよう、温かい心でケアにあたりたいと思います。



## 1. 生活全般について

家目標でもある「高齢化に伴う身体機能の低下や認知症状に対するケアと体調管理、精神面のケアに努める。」に取り組み、改めて認知症の方に対してのケアの難しさを痛感した一年でもありました。

先程まで食事をされていたのに、食事を終えると直ぐに「まだ、ごはん食べてない。食べさせてもらえない」等の訴えに、「さっき食べましたよ」と伝えても頑として「食べてねんだあ」と。そのやりとりを繰り返しているうちに次第に声のトーンも大きくなっていき、隣のユニットの介護員さんや看護師さんに「どうしたの、そんな大きな声で」「廊下まで聞こえるよ」と言われる始末。「悪気があって言った訳ではないのに」と自問自答、自暴自棄と云った4文字熟語が頭の中で毎日のように浮かんで消えていきました。

ちょっとした声かけ一つで、不快な気分になってしまったり、興奮させてしまったりと認知症に対する知識不足から、皆さんに不快な思いを掛けてしまったように思います。今回の反省点を次年度しっかりと活かせるよう努めていきたいとします。

東棟でユニットを実施していた時は、大所帯のイメージがあったユニットでしたが、北棟移動後、だんらんの家として10名でスタートし2年目、3名のご利用者が沢山の思い出を私達に残して天国へと旅立って逝かれました。(心からご冥福をお祈りします。)

## 2. 食事・入浴・排泄について

### ① 食事について

年齢や体調の変化に応じ食事形態の見直しや食事量の調整等行ってきました。

90歳以上の高齢者が2名おり、食事形態はミキサー食でも食欲は旺盛、しっかり食べ、しっかり休んでいる生活を送っています。また、自分で食事を摂っている姿を見ていると、いかに口から食べることが大切であるかを感じずにはられません。

また、朝・夕経管対応の方でも、昼食は離床しフロアでペースト食を介助にて食べています。食べて頂ける間は、口から頂いて欲しいと思っています。最期のその日まで美味しく食事を摂って頂けるよう日頃のケアを大切に頑張りたいと思います。

### ② 排泄について

個々の尿量に合ったパットを使用していますが、見直しを要す場合、随時対応しています。特に尿臭や消臭対策に関しては、まめな陰部洗浄や消臭パッド等を使用し尿臭等の軽減に努めているものの、思うような成果は得られませんでした。今後も引き続き尿臭や消臭に対し前向きに取り組んでいきたいとします。

### ④ 入浴について

身体状況に合った方法で安心・安全な入浴ができたと思います。また、入浴を嫌がる方に対しては、気持ちよく入浴できる環境づくりに心掛けケアに取り組みました。(着替えを一緒に準備する、雰囲気づくりや声かけも無理強いせず、本人の気持ちに寄り添いながら対応しました。) その結果、現在は前ほど強い拒否はなく、ゆっくり気持ちよく入浴されています。

また、皮膚トラブル対策として保湿クリームやワセリン等を使用し肌の保湿に努めています。

## 3. 行事などの取り組みについて

ホーム内行事、レクリエーションに関しては、その日の体調等を見ながら常時5～6名の方が参加されています。また、朝のラジオ体操や昼のパタカラ体操等も職員の動きや声に合わせて体を動かしたり、パ・タ・カ・ラと大きな声を発することでストレス解消にもなっているようです。今後も機能維持の一環として継続して行きたいと思います。

#### 4. 一年を振り返って

個々の生活パターンに合わせたケアを行ってきました。高齢の方に対しては、起床時間や離床時間等、その日の体調等を見ながら時間を決めず、目が覚めていたら本人に確認し離床するようにしました。

一人ひとりのニーズに合わせ寄り添ったケアを行いながら、安心して生活が送れるよう職員間での連絡を密にし、今後も統一したケアを実践できるよう努力していきたいと思います。

原発事故から4年目を迎えました。長かったような短かったような色々なことを考えなければならぬ1年でした。唯一、村に残ったいいたてホームが村の復興の先駆けとなれるよう、4年間必死になり皆頑張ってきました。しかし、そんな私たちの職場が今揺れているように思います。帰村するのか、しないのか、辞めるか、辞めないか、新しい職員が入ってくるのかと云ったように、毎日不安を抱えているのも事実です。

## 1. 生活全般について

年間目標として「ご利用者の身体面や精神面を理解しご利用者一人ひとりのニーズをしっかりと把握しながら日々のケアに努める」を掲げ、1年間ケアに努めてきました。

北棟に異動してから10名だったご利用者も6名になってしまいましたが、逆に、職員と関わりあう時間が増え、行き届いたケアが出来ていると感じています。

食事が終わると居室に移動しベッドで横になることが多かった方が、午前中、足のマッサージをしながら大好きな時代劇を他のご利用者と見たり、また、レクに参加し体を動かし楽しんだりと生活にも変化が出てきています。

ある方は、それまで元気でしたが急に体調悪化により、予想もつかなかった行動も無くなり、お話や楽しみにしていたカラオケで歌うこともなくなり、悲しい気持ちになったこともありました。

しかし、いつも笑顔が絶えない方やひょうきんな方、時々お話してくれる方と個性豊かな人生の先輩と一緒に生活でき、こんなにも豊かな経験をさせて頂いていることは介護員冥利に尽きると感じています。日々を大切にす最善のケアができた1年だと思います。

今後も個々の生活リズムに合わせ、生活リハビリを取り組み思いやりのある心のこもったケアを提供して行きたいと思います。

## 2. 食事、入浴、排泄について

### ①食事

個々の状態によって、美味しく楽しい食事で栄養が摂れるよう、口から食べることを大切に心掛けてきました。

また、経口摂取が困難な方でも、経管栄養だけでなく、昼食の時だけペースト食を食べて頂いたり、刻み食と常食のおかずを半々に盛り付け食べて頂いたり、粒上の固形物でむせりが見られる時は、お粥からトロミ食に変えたり、目の前でおかず等を取り分け盛り付けしたりと、目でも楽しんでもらいながら1日の摂取カロリーが摂れるよう工夫してきました。

### ②入浴

浴槽の縁に取り外しできる手すりを付けることで、スライドボード使用でシャワー浴だけだった方も、浴槽に入れるようになり本人も満足されています。

寒い時期は、入浴前に温風ヒーターで脱衣室を温め、ヒートショックの予防に努め、また、音楽を流し楽しみながら、入浴剤を入れたり、リラックスして入浴して頂けるよう努めています。

### ③排泄

オムツ使用者が3名、他4名はトイレでの排泄を基本とし、プライバシーに配慮しながら対応してきました。トイレでの立ち上がりが難しい方には、床と天井を利用し移動可能な縦の手すりを掴みやすい位置に設置し、立ち上がりが出来るよう工夫しています。

### 3. ユニットの取り組みについて

ゆっくり寛げる空間を作るため、テレビの前に車椅子で入れる炬燵を置き、傍に茶筆等を設置し家庭的な雰囲気づくりをしてきました。また、居室の入口（引き戸）に季節の行事が分かるよう飾り付けをしたところ喜んで頂いています。

### 4. 一年を振り返って

毎年初心に帰り介護にあたっていますが、ご利用者との関係が馴れ合いにならないよう心掛け、その人がその人らしく尊厳をもち、生活できるよう頑張っていきたいと思います。特に、意思決定へのサポートを大切に、自立支援が継続できるようにしていきたいと思います。

## 平成26年度 いいたてホーム医務室事業報告書

### 1. 年間目標について

要介護度の重度化に伴い、必要とされる医療行為の充実を図り、終末期においても安心した施設生活が送れるよう、多職種間との連携・協働体制を深めていくについては、多職種間の理解と協力を得、共に「諦めない」ことを目標とし、様々な情報等を共有することで概ね達成できていると思われる。

介護職員の技術の質は高いことは言うまでもなく素晴らしいが、何より現場での連携と信頼関係についてはこの施設の財産であり誇りに思うレベルにあると思われる。

### 2. 業務計画について

#### 1) 利用者及び職員の健康管理

健康管理について (入居者)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 健康診断1回目 平成26年7月29日 平均年齢87.3歳 男性平均年齢 80.3 歳 女性平均年齢 89 歳。50 名受診（検診率 100%） 内、何らかの所見を有する利用者は 50 名。</li> <li>➢ 健康診断2回目 平成27年2月23日 平均年齢88.3歳 男性平均年齢82.6歳 女性平均年齢89.6歳。43名受診（検診率100%） 内、有所見者数42名</li> <li>➢ 要精密検査を指摘され、緊急を要するような検査結果は1ケースあった。後日精密検査目的にて受診している。</li> <li>➢ 感染症について、インフルエンザ及び食中毒の感染者ゼロであったこと。懸念された感染性胃腸炎に至っても罹患者なしであった。</li> </ul>
職員の体調管理について	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 介護職員の平均年齢も高く、柔軟性と筋力の低下が目立ち、体調不良を訴える職員が目立っている。</li> <li>➢ 村外通勤を余儀なくされていること、かかりつけ医が固定しにくいことなどがストレスの要因になっている。</li> <li>➢ インフルエンザ罹患者は1名に留まった。</li> <li>➢ 腰痛対策については、予防法と介護技術の修得及び、福祉用具の購入（個人購入も含め）腰部にかかる負担軽減に努めた。</li> </ul>
健康診断について (職員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 検診率100%（年2回） 施設外での健診を受けた職員については結果の写しを医務室管理とした。</li> <li>➢ 3人に一人は何らかの慢性疾患があり内服薬の処方を受けている。</li> <li>➢ 腰痛検査（年2回）については、“総合的に心配なしと判断”という結果が殆どであった。</li> </ul>
健康教育について	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 職員会議定例会に於いて、時節に合った内容での勉強会を実施した。自身の体調管理については個別に相談を受けるなど、健康に関して常に健康を意識できるような体制作りにも努めた。</li> <li>➢ 『昼食後のストレッチ運動』については、身体の柔軟性とリラックス効果だけでなく、職員間のコミュニケーションをも図ることができた。良好な副産物をももたらす結果となり、次年度も継続し、その輪を拡げていきたい。</li> </ul>
受診について	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 救急車搬送は4件、臨時受診と定期通院の割合は半々であった。</li> <li>➢ 介護と看護間で情報を共有することで、比較的速やかな対応ができた。（手遅れという状態は避けられた）</li> <li>➢ 医療知識の周知・理解を図ることで疾患や事故の予防ができた。</li> <li>➢ 重症度の高いご利用者についても主治医の指示の下、家族への連絡を密にするなど信頼関係を築くことができた。</li> </ul>

## 2) 感染症対策

<p>感染症対策委員会について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 医務室が中心となり、時節にあった感染症についての情報を周知し、感染症予防・蔓延に努めた。</li> <li>➤ ノロウイルスへの対策・対応としての勉強会を開催。発生時の対応キットを購入し各家に配置した。実際開封（予防のため）し、使用したケースは1回のみ。</li> </ul>
<p>インフルエンザワクチン接種</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 入居者・職員に接種。</li> <li>➤ 入居者1名がインフルエンザ罹患者となったが、拡大することなく終息した。</li> </ul>

## 3) 褥瘡対策

<p>皮膚トラブルの予防</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 看護サイドでは、早期発見の重要性を周知することと、皮膚トラブルがもたらす二次的疾患の特性について知識を広めることができた。</li> <li>➤ 皮膚の状態を健やかにするため、セラミド入り乳液である『キュレル』及び皮膚の状態に合わせベビーオイルまたはアズノール軟膏を個別購入し対応した。</li> <li>➤ 栄養の大事さ、経口摂取については適宜ケア会議などで話し合い、関心を深めていった。</li> <li>➤ 病院から褥瘡形成され退院となった方について、状態が一進一退しているケースが2例となり現在に至る。</li> <li>➤ 看護師間で検討し、保護剤や被覆材の選択についても慎重に取り扱うものとした。</li> </ul>
------------------	--

## 4) 終末ケア

<p>看取りについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 「慣れ親しんだホームで最期を」と希望する入居者や家族が多く、9名の方が施設の自分の居室で永眠されました。病院に移ってから亡くなった方は5名でした。</li> <li>➤ 最期は居室にソファーベッドを配置するなどして、家族に泊まっていただきました。一人で逝かせたくないという職員の思いからでもあります。そして、できるだけ悔いが残らないように配慮することで信頼関係を継続できた。</li> <li>➤ 終末期を考慮し、厨房・介護・看護の全スタッフで関わる事ができた。</li> <li>➤ 定期診療に加え、深夜早朝にもかかわらず来所していただき、最期の確認と家族への説明をしてくれた医師に感謝します。</li> </ul>
----------------	--

【入院状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相馬公立病院	1	1											2
延日数	18	2											20
大町病院	3							1	1		1		6
延日数	36							6	11		4		57
あづま脳神経		2	1					1					4
延日数		19	7					14					40
小野田病院													
延日数													
川俣済生会												1	1
延日数												23	23
実人数 計	4	3	1					2	1		1	1	13
延日数 計	54	21	7					20	11		4	23	140

【通院状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相馬公立病院	5	3											8
小野田病院				1				1				1	3
大町病院	4	2	2	2	3	1	1	1	8	1	3		28
あづま脳神経				1	1	4	2	1		2	1	2	14
川俣済生会病院	1	3	2	1	1	1	3						12
大原総合病院													0
第一病院	2		1							1			4
布野歯科医院											1		1
つじ歯科医院				1									1
渡辺病院												1	1
福島日赤病院	3	1	1	1	2	2	1	1			1		13
実人数 計	15	9	6	7	7	8	7	4	8	4	6	4	85

平成26年度 厨房事業報告書

1. 重点目標について

ご利用者の体調や身体機能等に応じた、食べ易く食欲を引き出せるような食事の提供に配慮する。

また、厨房内及び他職種と連携しながら、急な食事変更や食形態を臨機応変に対応提供できる直営厨房の良さを活かす事が出来た。

2. 実施内容

(1) 年間実施食数

食種 食数	特養 経口食	特養 経管栄養	ショート	職員食	研修生 ボラティフ	検食	家族食	デイサービス
年間食数	43,147	7,086		8,116	18	1,095	40	
1ヶ月平均	3,595	591		676		92		
1日平均	118	20		22		3	家族会など	
年間総食数	59,502 食							

(2) 年間食材費

食材費	特養	
平均	1人 1日 819円	(検食を除く)
食材費総額	15,902,473円	

(3) 年間平均食事栄養量

栄養量	熱量	たんぱく質	脂質	塩分	炭水化物
特養	1,452kcal	62.4 g	36.4 g	7.5g	214.5g

(4) 栄養ケアマネジメント

対象者	対象者	実施期間	見直し期間
特養	入居者全員	通年	3ヶ月。但し、食事形態に変更があった場合はその都度随時見直し対応
(平成27年3月末)			
アセスメント結果 入居者 45名	低リスク (問題ない者) 23名	中リスク (やや瘦傾向・経管者) 21名	高リスク (褥瘡がある等) 1名

(5) 事業取り組み内容

1) 食事サービス

① 食べ易く、美味しい食事の提供

季節感を感じて頂けるよう行事食やイベント食にも力を入れたことにより、ご利用者と一緒に楽しめる食事を提供。後から喜ばれた声を聴き、遣り甲斐も感じられました。

② 栄養ケアマネジメントの実施

ケア会議等で情報を共有しながら経過を見てきました。今後も、より細やかな栄養管理で、体調の安定・維持に繋がられるようにして行きたいと思っております。

③ 安心・安全な食事の提供

衛生管理を徹底し食中毒及び感染症予防に努めて来たが、職員がインフルエンザにかかってしまったため自分達の健康管理も反省し予防に努めていきたい。

④ 会議の充実

厨房会議 課題改善のため、より具体的に話し合う場にしていく。



家会議 自分の担当する家会議へ出席し、介護職員とコミュニケーション図ることでご利用者の状態を把握出来た。

### 3. 一年間のまとめ

7月から体制が整い、今まで以上にチャレンジして成果も出せた1年でした。特に行事食では、手作り感を大切に季節を感じて頂けるメニューを取り入れてきました。また、全国より頂いた物資も調理を工夫しながら大切に使用させて頂きました。

通常の行事の他、厨房の提案で握り寿司イベント食を実施した際は、普段ペースト食の方が握り寿司を美味しそうに召し上がられ、驚かされるとともに、雰囲気のとぼす効果を実感しました。

誕生会では、厨房職員が担当するようになり、デコレーションにもバリエーションが増え、各家のリクエストに応えながらご利用者に喜んで頂けるケーキを作り、お祝いすることが出来ました。

100歳賀寿や99歳白寿のお祝いケーキをはじめ、厨房全員で話し合いながら作る過程も楽しかったです。その一方で誕生会翌日や誕生日当日に永眠される方もいらっしゃいましたが、厨房全員でケーキ作りに携わって来たため、今まで以上にご利用者が近くに感じ、その分悲しみも深くなりました。誕生会をお祝いさせて頂ける意義を心に留めながら来年度は更に素敵なケーキでお祝いさせて頂けるようデコレーションの勉強もしていきたいと思えます。

年々ご利用者の状態が低下傾向で、要望を伝えられる方も少なく、常食や軟食から食事形態が変更になる方が多く、嚥下困難者向けの食べやすい食事が求められています。食事は毎日の楽しみで、口から食べることが生き生きとした生活を送るエネルギーにも通じます。皆さんの要望に応えながら、これからも「おいしい！」と笑顔のために食事作りに努めていきたいと思えます。

平成26年度 いいたて在宅介護支援センター  
指定居宅介護支援事業所事業報告書

1. 基本方針について

介護保険の基本理念である「高齢者の自己決定権の尊厳」「自分らしい生活の継続」及び「自立支援」を基本とし、ご利用者やご家族の意向を踏まえ、自立支援に向けた居宅サービス計画を作成し、プランに添ったサービスが提供されるように、ご本人並びに家族は勿論の事、多種多様な事業者や関係機関と調整し、避難先等でも家族との生活が継続できるような支援を行ってきた。

(1) 信頼を得るについて

ケアプランを立案するにあたり、ご利用者とそのご家族の方との信頼関係を得るためにコミュニケーションを密にして、避難先の環境やサービス事業者とも連携を図り、迅速な対応を目指してきた。

(2) 課題を正確に捉えるについて

生活環境の変化やご利用者・ご家族の方の抱える心配ごとや不安な点を捉えるため、予測される課題についても、事前に検討を行ってきた。

(3) 情報提供について

ご利用者・ご家族の方が必要としている、介護保険制度を含めた様々な情報を提供、利用できるサービスなど避難先の地域資源活用等についても情報提供を行ってきた。

(4) モニタリングを行うについて

常に状況を把握し、状態にあった支援が提供できるよう努めてきた。モニタリングについては訪問以外にも、電話などでの相談や状況把握など出来る限りの活動を行ってきた。

(5) ご利用者の立場に立つについて

常にご利用者とその家族の、立場に立ち対応することに努めてきた。

『評価と課題』

訪問活動の他にも、電話などにより身体状況の変化、生活状況及び家族の負担状況の把握を行い、より適切な対応ができるように努めてきました。また、サービス提供事業者や関係機関等との連絡体制を徹底し、情報の共有を図ってきた。

広域に避難している利用者に対応している状況ではある。今後は、個々の介護保険給付に対するサービスの利用量の適正化を図っていくことも必要となってくると思われる。

2. 具体的な施策について

《ケアマネジメントの充実》

(1) アセスメント（課題分析）について

ご利用者及びご家族の方の意向等を把握し、解決すべき課題や生活行為等に対する可能性を抽出し、それらに基づく目標を導き出してきた。また、得られた情報はケアマネジメントの中核とし、状態像を十分に把握してきた。

(2) サービス担当者会議（ケアカンファレンス）について

ご利用者及びご家族の方、サービス事業所が参加することにより、生活への要望や課題を直接会って確認することで、チーム全員が思いを共有できると共に、ご利用される側に安心

感を持てるようにしてきた。

(3) モニタリング（サービス実施状況の把握及び評価）について

モニタリングは、ご利用者に対する継続的なアセスメントでもあり、ご利用者や家族の要望や苦情を、口に出せるような関係を築いていくと共に、サービスの実施状況も確認してきた。

(4) 居宅サービス計画の見直し（再アセスメント）について

モニタリングの結果から、ケアプラン変更の必要性が生じたら、内容を確認し利用者の状態の変化及びニーズを把握し、居宅サービス計画を見直し作成してきた。

(5) 給付管理について

サービス提供事業者からサービスの実績報告を受け、内容を確認し「給付管理票」を作成し翌月10日までに県の国民健康保険団体連合会に提出しています。

給付管理請求一覧（平成26年度）

月	件数	介護報酬額	月	件数	介護報酬額
4	66	883,140円	10	65	885,880円
5	68	922,640円	11	63	870,400円
6	67	908,080円	12	62	845,920円
7	65	875,500円	1	61	855,380円
8	66	887,520円	2	60	915,000円
9	66	897,440円	3	65	888,880円
合計			774件	10,635,780円	

『評価と課題』

サービス提供事業所との連絡調整を密に行い、適正なサービス利用に向けた調整を行っています。ショートステイの利用希望においては、各施設とも避難者の受け入れを行っている状況であり、利用が容易ではない状況であります。特に、相馬地方においては震災以後、地元の避難者の受け入れだけでも定員を超えて活動を行っている状況であります。

入所施設につきましては、全国的にも慢性的な職員不足の状態であり、ショートステイの利用希望があっても希望に対応しきれない状態であります。サービスの利用量の適正化を図り、ご利用者様本人や家族の要望を受け入れながら、サービス事業所との連絡調整を行っていききたいと思います。

3. 重点事業目標について

(1) 利用者及び家族に対し、避難先の福祉サービス情報提供について

- 希望するサービスを把握し避難先で対応可能なサービスについて、介護保険サービス以外のサービスを含め情報提供を行った。

『評価と課題』

- 避難先地域ごとに、サービスの種類や量などを事前に調査を行い、利用者や家族に適していると思われるサービスについて適宜情報提供を行うことが出来た。

情報収集の方法について、より効果的に図れる様に関係機関と連携する必要がある。

(2) 避難先での孤立防止と意欲低下防止について

- 訪問活動や電話による状況確認を行うことにより、利用者はもちろんのこと、家族の介護への不安解消を図った。

#### 『評価と課題』

- ・ 定期的な訪問活動のほかにも、関係機関との連携を図り、利用者や家族への支援活動を展開できたことは満足できるものであるが、今後は離れて暮らす家族との連携も必要と思われる。

#### (3) 利用者の状況に応じたケア計画の作成について

- ・ 利用者及び家族の状況を把握することはもちろん、サービス提供事業所からの情報を元に再アセスメントを行い、状況に適したケア計画を作成してきた。

#### 『評価と課題』

- ・ 状況に応じたケア計画作成が出来たことには、利用者や家族にも満足していただけ評価できるものとは思っている。その時々だけではなく、当初から長期的な視点でのケア計画を作成するように努めたい。

#### (4) 要介護認定調査について

- ・ 飯舘村の要請を受け、新規認定希望者及び認定の見直しを希望する方の要介護認定調査を実施してきた。

#### 『評価と課題』

- ・ 調査機関などを厳守するため、事前の連絡調整を密に行い滞ることなく認定調査を行うことができたことは評価できている。しかしながら、東電の賠償を根拠に認定を見直したいという、本来の目的以外に見直しを希望する利用者（家族）もあり、保険者たる行政の申請に至る時点での聞き取り調査なども必要ではないかと感じられる。

### 4. 介護支援専門員の資質・専門性の向上について

#### (1) 専門知識及び技術向上に努めてきた。

研修会に参加し、周知徹底に努めてきた。

- ・ 現任認定調査員研修（福島市） 1名参加

#### (2) 不満や苦情があれば、迅速かつ適切な対応が図れるように努めてきた。

- ・ 訪問時本人や家族の満足や不満等について確認し、サービス事業所への報告や改善を促しながら、質の向上に努めてきた。

#### (3) 秘密保持厳守、及び個人情報の取り扱いを適正に行ってきた。

- ・ 個人情報等の取り扱いについて慎重に対応するように努めてきた。

#### (4) 困難事例ケース検討、及び新規ケースの情報の共有することで、事業所内で依頼ケースのケアに取り組んできた。

- ・ 担当者が詳細な情報を報告し、情報を共有出来るように努めてきた。

#### 『評価と課題』

研修会に参加し、情報の収集を行ってきた。

困難事例ケースについては、地域包括支援センターやサービス提供事業所とも連携を図り、同行訪問等を行いながら対応を行ってきた。困難事例ケースの中には、介護保険問題だけではなく、家族構成・経済・賠償・住宅環境など家庭環境全体が困難なケースとなっている。

## 5. 在宅介護への支援について

(1) 介護保険制度及びサービス内容の周知を行ってきた。

- ・ サービス利用については、ご利用者のニーズに合わせ、それぞれの避難先（自治体）で希望するサービスを提供できるよう努力してきた。

(2) 介護方法及び社会資源の利用についての周知を行ってきた。

- ・ 排泄に関わるアドバイス、認知症利用者等への対応の仕方など行ってきました。避難先での利用可能な社会資源について、その都度説明を行ってきた。

### 『評価と課題』

関係機関との連携が益々必要となっていくと考えられ、利用者やその家族の不安が少しでも解消できるような、相談援助活動を継続していく必要がある。

## 6. 各関係機関との連携の強化

(1) 地域包括支援センターを始め、各関係機関との連携を密にし、ニーズに沿ったケアマネジメントが行えるよう努めてきた。

- ・ 各市町村関係機関との連携を行いながら、ケアマネジメントに反映出来る様に努めてきた。

### 『評価と課題』

- ・ 避難先の各種関係機関と連携して支援できたことについては、評価できるものと感じております。今後の生活環境等の変化に対し、どのように対応できるか各関係機関との連携が重要となってくるものと思われる。

平成26年度、避難先でご協力頂いている（協力頂いた）各種事業所（敬称省略・順不同）

**（福祉用具関連事業所）** エヌジェイアイケアヘルス福島店、ニチイケアセンター南福島、（株）ファミリーケア、介護ショップキタフジ（福島市）、（株）同仁社（伊達市）、（株）昭和総合サービス（郡山市）、創世テクノエイド（桑折町）（株）アルプスビジネスクリエーション（相馬市）、（株）ハッピーケア（南相馬市）、（株）福島ひかりのくに（川俣町）

**（訪問看護事業所）** 訪問看護ステーション松陵、訪問看護ステーション、しみず訪問看護やまなみステーション、訪問看護ステーションすかわ、24時間訪問介護看護ステーションいざか花桃館（福島市）、リハビリ訪問看護ステーションつばさ（相馬市）、済生会川俣訪問看護ステーション（川俣町）、ほばら訪問看護ステーション（伊達市）、藤田総合病院在宅支援看護センター（国見町）

**（訪問介護事業所）** 民間救急警備（株）、ニチイケアセンター南福島、ハートフルステーション、とわファイン（福島市）、福寿園ヘルパーステーション、のぞみケアタクシー（株）、平和タクシー（南相馬市）、ケアステーションやわらぎ、ヘルパーステーションほばら（伊達市）、ニチイケアセンター宇多の郷、馬陵タクシー介護事業（相馬市）

**（訪問入浴事業所）** （有）キュービット介護サービス、民間救急警備（株）（福島市）、訪問入浴介護やわらぎ（伊達市）

**（通所リハビリ事業所）** 通所リハビリステーションろくまんぼう、通所リハビリ桃花林（伊達市）、エルダーランド、通所リハビリセンターいいの（福島市）、通所リハビリステーションめぐみ（川俣町）

**（通所介護事業所）** 老人デイサービスセンターはなみずき、北信デイサービスセンターすこやか、デイサービスセンターなごみの郷、デイサービスあづま、デイサービスセンター輝きの郷、元気サポート小倉寺、元気サポート寿美花、ニチイケアセンター南福島、ハートフェロウユーズ、デイサービス愛の里（福島市）、ニチイケアセンター宇多の郷、（相馬市）、南東北川俣デイサービスセンター（川俣町）、デイサービスセンターにほんまつ、ふれあいデイサービス（二本松市）、福寿園デイサービスセンター、デイサービスステーションスマイル、けやきデイサービス、デイサービス小高、石神デイサービス（南相馬市）、保原デイサービスセンター、デイサービスやわらぎ、霊山デイサービスセンター（伊達市）

**（短期入所事業所（特別養護老人ホーム））** なごみの郷、輝楽里、聖・輝きの郷、ショートステイ宝寿木村屋、愛の里（福島市）、孝の郷、ハッピー愛ランドほばら、星風苑（伊達市）、南東北川俣シルクロード館、川俣ホーム（川俣町）、桑折聖・オリーブの郷（桑折町）

**（短期入所事業所（老人保健施設））** エルダーランド、ケアフォーラムあづま（福島市）、プライムケア桃花林（伊達市）、社の都（相馬市）、サンビュー二本松（二本松市）

**（居宅療養管理指導（往診含む））** とやのクリニック、すずきクリニック（福島市）、大石

平成26年度 やまゆり保育所事業報告

1. 年間入所児童数

年齢	男児	女児	合計
2歳児	2	3	5
1歳児	2	0	2
0歳児	3	1	4
計	7	4	11

2. 年間保育日数

月/日数		月/日数		月/日数	
4月	25日	8月	26日	12月	23日
5月	24日	9月	24日	1月	23日
6月	25日	10月	26日	2月	23日
7月	26日	11月	23日	3月	25日
合計					293日

・保育時間(通常保育 7:00~18:00、延長保育 18:00~19:00)

3. 主な保育所行事

月	日	行 事	内 容	参加人数
4	1	平成26年度保育開始	通常保育開始	
	17	避難訓練	避難笛の合図を知る・避難の仕方を知る。	児3名
5	7	子ども会	子供の日の由来を知る。こいのぼりの製作や歌を歌う。	児3名
	8	交通安全教室	歩道の歩き方を知る。信号の見方を知る	児3名
	12	避難訓練	火災想定にて避難訓練実施	児3名
	13	歯科検診	歯科医師による検診受診	児3名
5	14	蟻虫卵・尿検査	ピンテープによる検査及び尿採取	児3名
	15	内科検診・眼科検診	小児科医による検診	児3名
	16	保育参観	親子製作・親子ふれ合い遊び	児3、保護者3
	27	誕生会	5月生まれの子の誕生を祝う	児4名
6	9	防犯教室	紙芝居などを用い、不審者には付いて行かない等を知る。	児4名
	20	避難訓練	地震想定避難訓練	児6名
7	7	七夕会	七夕の由来を知り、短冊に願いを書き笹飾りに飾る。	児6名
	18	避難訓練	台風想定避難訓練実施	児8名
	25	じゃがいも掘り	植える・育てる・収穫するまでの工程をすることで食育や自然を育む。	児8名
8	5	防犯教室	不審者が侵入しようとしていると想定避難訓練	児8名
	7	ミニ夏祭り	親子参加(ゲーム遊びやゆめだかすくい、模擬店ごっこをして焼きそばやかき氷・とうもろこしと一緒に食べた。	児8、保護者9
	19	避難訓練	周辺建物火災想定避難訓練実施	児5名
9	12	誕生会	9月生まれの子どもの誕生を祝う	児7名
	16	交通安全教室	横断歩道の渡り方を知る。信号の見方をおさらいする。	児9名
	22	避難訓練	予告なしで実施(竜巻想定で避難訓練を実施)	児9名
10	3	誕生会	10月生まれの子どもの誕生を祝う。	児11名
	9	蟻虫卵検査	ピンテープ検査実施	児11名
	15	ミニ運動会	リズム体操・リレー・障害物・ボールころがし等	児11名
	15	避難訓練	火災想定避難訓練実施(消防車見学と記念撮影)	児11名
	25	村祭り(25~26日)	親子合作作品の展示	児11名
11	6	保育参観	親子で製作遊び、ふれ合い遊び。	児10、保護者8
	10	防犯教室	川俣警察署員による指導	児10名
	13	内科検診	小児科医による検診を実施	児9名
	17	歯科検診	歯科医師による検診を実施	児10名
	18	避難訓練	地震・火災想定避難訓練実施	児9名
12	12	避難訓練	地震想定避難訓練実施	児7名
	24	クリスマス会	サンタクロースからプレゼント。ケーキを食べてお楽しみ会をする。	児10名
1	14	誕生会	1月生まれの子どもの誕生を祝う	児10名
	14	避難訓練	火災想定避難訓練実施	児10名
2	3	豆まき会	節分の由来を知り、鬼のお面の製作。	児10名
	12	誕生会	2月生まれの子の誕生を祝う	児10名
	17	避難訓練	火災想定避難訓練実施	児10名
3	3	ひなまつり会	ひなまつりの由来を知り、ひな人形製作等を楽しむ。	児9名
	16	避難訓練	一年間訓練したことを紙芝居や絵を見ながらおさらいをする。	児9名
	24	お別れ会	平成26年度に修了する子たちとお別れ会。保育士手作りのメダル等のプレゼント。	児9名
	27	修了式	修了証書授与・思い出のスライド・記念品や花束のプレゼント。	児5名
	31	平成26年度保育終了		

・四季折々の行事を行い、一年間の移り変わりやその由来を知らせ、感謝の気持ちや日本の伝統を継承できるよう心掛けてきた。

#### 4. 会議報告

##### ① 職員会議

月 日	内 容
4/22	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・保育参観について
5/23	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・
6/23	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会
7/23	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・ミニ夏祭りについて
8/22	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・県書類監査提出について
9/30	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・村祭り作品展示参加について
10/27	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・保育参観について
11/21	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会
12/24	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・年末年始について
1/28	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・来年度入所児募集について
2/25	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・修了式について
3/27	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・修了式の反省・新年度準備

- ・ 毎月、保育の改善事項の確認を行う。9月より0歳児の入所に伴いクラス分けをしたことで、クラス毎の状況とケース会議を実施。また、勉強会では、「子ども・子育て支援制度」を中心に行ってきた。

##### ② 給食会議

内容：先月の改善事項の確認・今月の改善事項について・各クラスの食事状況・厨房及び栄養士からの状況報告等・行事食について・その他

- ・ 食品放射線量検査毎日実施
- ・ 保菌検査 全職員毎月実施
- ・ ノロウィルス検査(調理師)
- ・ 食品自主検査 6月・2月実施
- ・ 温度調査 年1回実施
- ・ 食育アンケートの実施(6・11月)

実施日	4/16	10/14
	5/16	11/17
	6/13	12/17
	7/15	1/21
	8/11	2/13
	9/17	3/16

- ア. 毎日提供する食品の放射能検査を実施し、安心安全な食事提供に努めてきた。
- イ. 食育アンケートを実施し、アンケートの結果を給食提供に反映できるよう努めてきた。
- ウ. 行事には、四季の食材やお楽しみメニューとし、楽しく食事ができるよう心がけてきた。

#### 5. 安全点検・備品点検の実施

- ・ 毎月1日に安全点検実施。建物及び敷地内の点検を行い不備があった場合即対応し事故防止に繋げてきた。
- ・ 備品点検を隔週に行い、椅子やテーブル等のネジのゆるみなどを整備し事故防止に繋げてきた。

#### 6. 個別計画・月、週案の作成

- ・ 年2回のアセスメントを実施。個別計画を作成、保育に取り組んだ。
- ・ 月・週別の計画を作成。ケース記録・経過記録の詳細記入に心掛け、成長記録を執ってきた。

#### 7. 保護者支援

- ・ 送迎時に連絡帳を活用し、保護者が安心して預けられる保育所づくりに努めてきた。

#### 8. 感染予防の徹底

- ・ 食事形態の工夫により偏食の改善に努めてきた。
- ・ 年間を通しての手洗いうがいの徹底を行ってきた。
- ・ 排泄介助時の衛生管理を徹底してきた。

#### (全体の反省)

4月保育開始時は、入所児3名からのスタートであったが、年内中には徐々に増え11名までとなった。

現在の保育士5名の状況では、11名が満床という状況であり、また、障がい認められる子や食物アレルギーの子がいることから、より一層の見守り保育が必要とされた年だった。

しかし、危機管理を徹底し、入所児の安全保育を第一とした保育に取り組んできたことにより事故なく保育できた。

平成27年度も無事故を目指し、一人ひとりに寄り添った保育に取り組んでいきたい。

## 1. 基本方針

震災（原発事故）に伴う影響は4年が経過した今でも状況は変わらず、将来的展望が描けない現況ではあるが、本年度の基本方針でもある「通常業務に加え、新たな財源確保（補助金等）や人材確保のための環境整備の提案等について取り組む」ことについては、事務分担による効率アップと責任ある担当事務の遂行に努めると共に、相互協力により通常業務や財源確保等はできたと思われる。ただ、人材確保については、様々な提案はできても、それを具現化することが難しく今後のテーマになると考える。

## 2. 具体的な内容

### ① 財源の維持確保

#### ・支出の見直し

昨年と同様に、実績を基に間に合うものはそのまま活用し、余分なことと思われる支出を抑えてきた。

#### ・収入の確保

経費を要するものに対し、民間等の助成（福祉・介護人材育成・確保支援事業等）等を活用し効果を上げてきた。

また、適正且つ納得の行く賠償請求も併せて行ってきた。

#### ・様々な試算に心掛ける

支出する前に効果があるのか、又は、ないのか、効果があるとすれば費用対効果に見合うかどうかを試算してきた。

### ② 人材確保

職員不足は、財源に大きな影響を及ぼすことから、人材確保に関する職員募集（お知らせ版やハローワークに登録）をしたり、個別に声掛けをする等してきた。

### ③ 後方支援の役目を担う

各事業所が活動し易いように、必要とする事務的資料を作成する等、後方サポートを行ってきた。

## 3. その他

### ① その他必要時に必要な内容を伝達できるよう、適宜の勉強会を開催

各担当者が適正な事務処理ができるよう、復命書を活用し、その研修会で得たものをお互いに周知してきた。



平成26年度 研修記録一覧

研修期間	研修者氏名	所属	研修名	研修場所	備考	開催者	内容
4月5日 ~ 4月5日	1 日間	特養	福島介護福祉専門学校第十九回入学式	福島県男女共生センター	9:50~	福島介護福祉専門学校	第十九回入学式
4月14日 ~ 4月14日	1 日間	特養	相馬地方に介護福祉士養成学科をつくる会	はまなす館	13:30~	相馬地方に介護福祉士養成学科をつくる会	要望書（案）について
4月15日 ~ 4月15日	1 日間	特養	老人福祉施設協議会 役員会	県社協	13:30~	県社協	平成25年度事業報告について
4月17日 ~ 4月17日	1 日間	在介	地域ケア会議	飯野出張所	13:30~15:00	飯館村	家族介護用品給付事業の申請について
4月21日 ~ 4月21日	1 日間	特養	平成26年度第1回常任理事会	ホテルメトロポリタン	10:30~12:00	東北ブロック老人福祉施設協議会	平成25年度事業報告及び収支決算について
4月21日 ~ 4月21日	1 日間	特養	平成26年度第1回理事会	ホテルメトロポリタン	13:00~16:00	東北ブロック老人福祉施設協議会	平成25年度事業報告及び収支決算について
4月22日 ~ 4月22日	1 日間	特養	第1回正副会長・委員長会議(拡大)	砂防会館	15:00~17:00	全国老施協	情報分析、各委員会事業の推進について
4月22日 ~ 4月22日	1 日間	特養	平成26年度相双地区集団給食研究会総会並びに第1回研修会	なごみの里福田	13:30~16:30	相双地区集団給食研究会	平成25年度事業及び決算について他
4月23日 ~ 4月23日	1 日間	特養	第1回総務・組織委員会	塩崎ビル	10:00~	全国老施協	平成25年度事業の総括について
4月24日 ~ 4月24日	1 日間	居宅	平成26年度第1回新任認定調査員研修会	福島県文化センター	13:30~17:00	保健福祉部介護保険室	本県における介護保険制度の運営状況
4月30日 ~ 4月30日	1 日間	特養	平成26年度福島県社会福祉協議会老人福祉施設協議会総会	ビッグパレットふくしま	13:00~14:30	県社協	平成25年度事業報告について
5月1日 ~ 5月1日	1 日間	特養	ふくしまユニットケア協議会総会及び管理者研修	ウエディングエルティ	11:00~16:00	ふくしまユニットケア協議会	平成25年度事業報告について
5月12日 ~ 5月12日	1 日間	特養	福島県福祉・介護人材育成確保対策会議	福島県消費生活センター	13:30~	保健福祉部	平成25年度福祉人材確保推進プロジェクト事業の実績について
5月15日 ~ 5月16日	2 日間	特養	平成26年度東北ブロック老人福祉施設大会	ホテルメトロポリタン山形	13:30~	県社協	介護保険制度の改正に向けて
5月15日 ~ 5月16日	2 日間	特養	平成26年度東北ブロック老人福祉施設大会	ホテルメトロポリタン山形	13:30~	県社協	「コミュニケーションカ」について
5月15日 ~ 5月16日	2 日間	特養	平成26年度東北ブロック老人福祉施設大会	ホテルメトロポリタン山形	13:30~	県社協	「コミュニケーションカ」について
5月17日 ~ 5月17日	1 日間	特養	看護功労者知事感謝状授賞式	福島県看護会館みらい	10:00~10:50	福島県相双保健福祉事務所	看護功労者表彰式
5月21日 ~ 5月21日	1 日間	特養	平成26年度 福島県介護労働懇談会	福島グリーンパレス	13:30~15:30	介護労働安定センター	福島県介護労働懇談会運営について
5月26日 ~ 5月26日	1 日間	特養	社会福祉法人福島県社会福祉協議会評議員会	県社協	13:00~14:30	県社協	平成25年度事業報告について
6月6日 ~ 6月6日	1 日間	特養	軽費老人ホームに関する要望書提出	県庁	13:30~13:40	県社協	軽費老人ホームに関する要望書提出
6月6日 ~ 6月6日	1 日間	特養	環境省熱中症に係る自治体等担当者向け講習会	コラッセふくしま	13:00~16:00	保健福祉部	医療からみた熱中症他
6月10日 ~ 6月10日	2 日間	特養	社会福祉法人等代表者会議	郡山ユラックス熱海	10:30~12:00	保健福祉部	福祉事業関連法令等改正の周知について
6月10日 ~ 6月10日	1 日間	特養	第16回総会	東海大学校友会館	13:00~15:30	全国老施協	役員の変動について
6月10日 ~ 6月10日	1 日間	特養	第1回 総務・組織四役会	塩崎ビル	16:30~18:00	全国老施協	指導監査実態調査票について
6月12日 ~ 6月12日	1 日間	特養	福島県老人福祉協議会要望書作業部会	福島グリーンパレス	10:00~12:00	県社協	アンケート調査集計結果について
6月12日 ~ 6月12日	1 日間	特養	福島県老人福祉協議会役員会（第2回）	福島グリーンパレス	13:30~	県社協	福島県議会 福祉公安委員会現地調査について
6月12日 ~ 6月12日	1 日間	特養	相馬地方に介護福祉士養成学科をつくる会 全体会	福祉会館	14:00~	相馬地方に介護福祉士養成学科をつくる会	市長村長並びに広域市町村組合への要望活動の結果報告他
6月18日 ~ 6月18日	1 日間	保育所	子ども・子育て支援新制度に係る事業所向け説明会	福島県文化センター	9:30~12:00	福島県子育て支援課	公定単価の仮単価、本格施行までのスケジュール等
6月20日 ~ 6月20日	1 日間	特養	平成26年度 安全運転管理者講習会	原町フローラ	9:30~16:30	福島県公安委員会	安全運転講習
6月25日 ~ 6月25日	1 日間	特養	第3回正副会長・委員長会議(拡大)	ホテルルポール麹町	15:00~17:00	全国老施協	講演、情勢分析
6月27日 ~ 6月27日	1 日間	特養	福島県議会 福祉公安委員会現地調査（懇談会）	いいたてホーム	14:00~15:00	県社協	概要等の説明他
6月30日 ~ 6月30日	1 日間	特養	平成26年度福島県社会福祉協議会デイサービスセンター部会相双支部総会	福島ビューホテル	14:00~	デイサービスセンター部会相双支部	平成25年度事業報告・収支決算について
6月30日 ~ 7月1日	2 日間	特養	平成26年度相双地区特別養護老人ホーム連絡協議会総会及び施設長会議	福島ビューホテル	15:30~11:00	相双地区特養連	平成25年度事業報告・収支決算について
7月6日 ~ 7月6日	1 日間	特養	日本感染管理ベストプラクティス研修会 7/6、9/7、12/20 全3回	JA郡山市会館	10:30~16:30	日本感染管理ベストプラクティス事務局	感染管理の基本他

研修期間	研修者氏名	所属	研修名	研修場所	備考	開催者	内容
7月8日 ~ 7月10日	3日間	特養	平成26年度福祉職員キャリアパス・社会福祉施設新任研修	県社協	9:15~16:30	県社協	福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理他
7月9日 ~ 7月9日	1日間	特養	平成26年度第1回福島県広域災害福祉支援ネットワーク協議会	県庁西庁舎	14:00~15:30	広域災害支援ネットワーク	平成26年度の活動について
7月11日 ~ 7月11日	1日間	特養	平成26年度社会法人事務長等研修	郡山ユラックス熱海	10:20~15:30	県社協	社会福祉法において期待される社会福祉法人運営について
7月15日 ~ 7月15日	1日間	特養	平成26年度相双地区集団給食研究会第2回研修会	赤江井マリンホーム	8:30~17:00	相双地区集団給食研究会	最新型ユニットにおける給食管理他
7月15日 ~ 7月16日	2日間	特養	平成26年度福島県老協協会中地区第1回施設長研修会	ホテル華の湯	14:00~11:30	県中地区老協	平成26年度の活動について
7月17日 ~ 7月18日	2日間	特養	平成26年度福島県社会福祉施設老人福祉施設協議会「介護職員研修(4年未満)」	御宿東鳳	1:30~12:00	県社協	つらい仕事からやさしい仕事へ他
7月17日 ~ 7月18日	2日間	特養	平成26年度福島県社会福祉施設老人福祉施設協議会「介護職員研修(4年未満)」	御宿東鳳	1:30~12:00	県社協	つらい仕事からやさしい仕事へ他
7月22日 ~ 7月22日	1日間	保育所	平成26年度福祉サービス第三者評価研修会	福島県ハイテクプラザ	13:00~16:30	県社協	新・福祉サービス第三者評価基準ガイドランの理解について他
7月24日 ~ 7月25日	2日間	特養	平成26年度喀痰吸引等指導者養成講習	福島県看護会館みらい	9:00~16:00	福島県看護協会	介護職員等による喀痰吸引等の実施のための制度の概要他
7月30日 ~ 7月30日	1日間	特養	平成26年度福祉サービスに関する苦情解決責任者第三者委員研修会	ビッグパレットふくしま	10:00~16:00	県社協	苦情対応と説明責任他
7月30日 ~ 7月30日	1日間	特養	平成26年度福祉サービスに関する苦情解決責任者第三者委員研修会	ビッグパレットふくしま	10:00~16:00	県社協	苦情対応と説明責任他
7月30日 ~ 7月30日	1日間	特養	平成26年度第3回常任理事会	ホテルモトロポリタン仙台	16:30~	東北ブロック老人福祉施設協議会	東北ブロック老人福祉施設協議会3大事業予定表について
8月4日 ~ 8月6日	3日間	特養	平成26年度福祉職員キャリアパス・社会福祉施設新任研修	県社協	9:15~16:30	県社協	福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理他
8月6日 ~ 8月6日	1日間	特養	第5回正副会長・委員長会議(拡大)	ホテルルポール麹町	15:00~17:30	全国老協	講演、情勢分析
8月7日 ~ 8月7日	1日間	特養	平成26年度県特養連老協給食担当者研修会にて挨拶	ホテル華の湯	13:15~	県社協	嚥下しやすい食事について
8月7日 ~ 8月8日	2日間	特養	平成26年度県特養連老協給食担当者研修会	ホテル華の湯	13:15~11:00	県老協	嚥下しやすい食事について
8月18日 ~ 8月20日	3日間	特養	2014年度ユニットケア研修	仙台サンプラザホテル	9:00~17:00	日本ユニットケアセンター	ユニットケアの理念と意義他
8月22日 ~ 8月22日	1日間	特養	災害時の対応を考える講演会	金沢歌劇座	14:50~16:20	石川県社協	施設における危機管理～福島の状況から考える
8月27日 ~ 8月27日	1日間	特養	第6回正副会長・委員長会議(拡大)	都市センターホテル	15:00~17:30	全国老協	情勢分析
8月27日 ~ 8月27日	1日間	特養	平成26年度第2回法人連絡協議会	田村福祉会	13:30~	県社協	平成26年度事業について(6法人による再検討)
8月27日 ~ 8月27日	1日間	保育所	平成26年度保育所保育士専門研修	ウィル福島	10:30~15:30	県社協	あそびうたワークショップ
9月3日 ~ 9月3日	1日間	特養	平成26年度東北ブロック老人福祉施設研究大会運営スタッフ	ビッグパレットふくしま	8:00~	県社協	運営スタッフ 受付・接待
9月3日 ~ 9月4日	2日間	特養	平成26年度東北ブロック老人福祉施設研究大会	ビッグパレットふくしま	13:00~12:00	東北ブロック老人福祉施設協議会	明日へつなぐ介護～現場から時代をつくる～
9月4日 ~ 9月4日	1日間	特養	平成26年度第2回理事会	ビッグパレットふくしま	10:00~11:30	東北ブロック老人福祉施設協議会	東北ブロック老人福祉施設協議会 三大事業について
9月4日 ~ 9月4日	1日間	特養	平成26年度第3回常任理事会	ビッグパレットふくしま	12:00~13:00	東北ブロック老人福祉施設協議会	平成26年度全国老人福祉施設研究会議の分科会発表者の推薦について
9月3日 ~ 9月4日	2日間	特養	平成26年度東北ブロック老人福祉施設研究大会	ビッグパレットふくしま	13:00~12:00	東北ブロック老人福祉施設協議会	明日へつなぐ介護～現場から時代をつくる～
9月7日 ~ 9月7日	1日間	特養	日本感染管理ベストプラクティス研修会 7/6、9/7、12/20 全3回	JA郡山市会館	10:30~16:30	日本感染管理ベストプラクティス事務局	感染管理の基本他
9月17日 ~ 9月17日	1日間	特養	第7回正副会長・委員長会議(拡大)	砂防会館	15:00~17:30	全国老協	情勢分析
9月17日 ~ 9月17日	1日間	特養	第2回総務・組織四役会	塩崎ビル	18:00~19:00	全国老協	会員証の作成について
9月19日 ~ 9月19日	1日間	特養	第2回作業部会	福島グリーンパレス	13:30~	県社協	要望書(案)について
9月25日 ~ 9月25日	1日間	特養	これからの介護と福祉を守る1000人集会	ザキャピトルホテル	13:00~14:30	全国老協	社会福祉法人の課税化阻止
9月25日 ~ 9月25日	1日間	特養	これからの介護と福祉を守る1000人集会	ザキャピトルホテル	13:00~14:30	全国老協	社会福祉法人の課税化阻止
9月26日 ~ 9月26日	1日間	特養	福祉施設栄養士研修	郡山市総合福祉センター	13:30~17:00	福島県栄養士会	介護保険制度改定の概要
9月29日 ~ 9月29日	1日間	特養	社会福祉法人福島県社会福祉協議会評議員会	県社協	13:00~14:30	県社協	平成26年度事業中間報告について
9月29日 ~ 10月1日	1日間	特養	介護支援専門員専門Ⅱ(2回目更新研修)	ビッグパレットふくしま	10:00~17:00	県社協	介護支援専門員の課題他

研修期間	研修者氏名	所属	研修名	研修場所	備考	開催者	内容
9月29日～10月1日	1日間	在介	介護支援専門員専門Ⅱ（2回目更新研修）	ビッグパレットふくしま	10:00～17:00	県社協	介護支援専門員の課題他
10月2日～10月2日	1日間	特養	タウンミーティング（島根大会）	三瓶山さんべ荘	14:00～17:00	全国老施協	現場からの問題提起他
10月2日～10月2日	1日間	特養	平成26年度認知症高齢者対応研修	郡山ユラックス熱海	10:20～16:00	県社協	高齢者の心理と行動
10月2日～10月2日	1日間	特養	第14回国際福祉機器展	東京ビッグサイト	10:00～16:00	保健福祉広報協会	EU諸国の認知症政策の現状と課題
10月2日～10月2日	1日間	特養	第14回国際福祉機器展	東京ビッグサイト	10:00～16:00	保健福祉広報協会	EU諸国の認知症政策の現状と課題
10月2日～10月2日	1日間	特養	第14回国際福祉機器展	東京ビッグサイト	10:00～16:00	保健福祉広報協会	EU諸国の認知症政策の現状と課題
10月2日～10月2日	1日間	在介	第14回国際福祉機器展	東京ビッグサイト	10:00～16:00	保健福祉広報協会	EU諸国の認知症政策の現状と課題
10月3日～10月3日	1日間	特養	指定病院等における不在者投票事務説明会	南相馬合同庁舎	13:30～15:00	福島県選挙管理委員会	第20回福島県知事選挙の事務手続きについて
10月6日～10月6日	1日間	特養	社会福祉施設栄養士研修	ビッグパレットふくしま	10:20～16:00	県社協	栄養ケアマネジメント研修応用編理論編
10月8日～10月8日	1日間	特養	要望書提出	福島県庁	10:00～12:00	県社協	要望書について
10月8日～10月9日	2日間	特養	県老施協主任介護職員研修	裏磐梯ロイヤルホテル	13:30～11:00	県老施協	介護現場における定着率の向上、ヤル気作り、リーダーシップのコツ
10月10日～10月10日	1日間	特養	第2回 総務・組織委員会	塩崎ビル	10:00～	全国老施協	タウンミーティング実施状況について
10月10日～10月10日	1日間	特養	平成26年度指導監査対応室「全国担当者会議」	都市センターホテル	13:00～16:30	全国老施協	指導監査等実態調査他
10月17日～10月17日	1日間	特養	平成26年度相双地区特定給食施設講習会	万葉ふれあいセンター	14:00～16:00	相双保健所	日本人の食事摂取基準の改定とポイントと活用について
10月20日～10月20日	1日間	特養	老人福祉施設協議会 正副会長会議	いいたてホーム	10:00～12:00	県老施協	平成26年度下半期事業計画他
10月20日～10月24日	5日間	特養	平成26年度前期ユニットケア実地研修	社の風	12:00～16:00	日本ユニットケアセンター	施設実地研修
10月21日～10月21日	1日間	特養	平成26年度福島県相双地域保健医療福祉協議会	南相馬合同庁舎	13:30～15:00	福島県相双地域保健医療福祉協議会	会長、副会長の選出について
10月28日～10月28日	1日間	特養	第9回正副会長・委員長会議(拡大)	ホテルメトロポリタン仙台	9:30～10:30	全国老施協	情勢分析、各委員会事業の進捗について（報告）等
10月27日～10月28日	2日間	特養	平成26年度県老施協介護支援専門員研修	ホテル辰巳屋	12:30～12:00	県老施協	施設ケアマネジメントの基本的枠組と支援プロセス全般
10月28日～10月30日	3日間	特養	全国老人福祉施設大会（仙台大会）	ゼビオアリーナ仙台	12:00～11:45	全国老施協	地域のために「打つ手を尽す」他
10月29日～10月29日	1日間	特養	平成26年度社会福祉法人監事研修	郡山ユラックス熱海	12:50～16:00	県社協	新社会福祉法人会計基準に伴う監事監査のポイント
10月29日～10月29日	1日間	特養	平成26年度社会福祉法人監事研修	郡山ユラックス熱海	12:50～16:00	県社協	新社会福祉法人会計基準に伴う監事監査のポイント
10月29日～10月29日	1日間	特養	平成26年度社会福祉法人監事研修	郡山ユラックス熱海	12:50～16:00	県社協	新社会福祉法人会計基準に伴う監事監査のポイント
10月28日～10月28日	1日間	特養	第71回全国老人福祉施設大会仙台大会	ゼビオアリーナ仙台	12:30～17:20	全国老施協	介護保険制度改正と次期介護報酬改正に向けて
10月28日～10月28日	1日間	特養	第71回全国老人福祉施設大会仙台大会	ゼビオアリーナ仙台	12:30～17:20	全国老施協	介護保険制度改正と次期介護報酬改正に向けて
10月29日～10月29日	1日間	特養	第71回全国老人福祉施設大会仙台大会	ホテルメトロポリタン仙台	9:30～16:00	全国老施協	科学的介護の実践（地域の介護の拠点として）
10月29日～10月29日	1日間	特養	第71回全国老人福祉施設大会仙台大会	ホテルメトロポリタン仙台	9:30～16:00	全国老施協	科学的介護の実践（地域の介護の拠点として）
10月31日～10月31日	1日間	特養	平成26年度社会福祉施設看護等職員研修	ビッグパレットふくしま	10:20～16:00	県社協	社会福祉施設等における感染予防と対策
11月5日～11月6日	2日間	特養	第33回全国社会福祉法人経営者大会	ホテルハマツ	10:00～12:00	全国経営協	社会福祉法人をめぐる動向と全国経営協の取り組み
11月5日～11月6日	2日間	在介	第33回全国社会福祉法人経営者大会	ホテルハマツ	10:00～12:00	全国経営協	社会福祉法人をめぐる動向と全国経営協の取り組み
11月5日～11月6日	2日間	在介	第33回全国社会福祉法人経営者大会	ホテルハマツ	10:00～12:00	全国経営協	社会福祉法人をめぐる動向と全国経営協の取り組み
11月6日～11月6日	1日間	特養	平成26年度相双地区集団給食研究会第3回研修会	タニコー	13:30～17:00	相双地区集団給食研究会	施設内厨房機器給食設備見学
11月6日～11月6日	1日間	特養	平成26年度相双地区集団給食研究会第3回研修会	タニコー	13:30～17:00	相双地区集団給食研究会	施設内厨房機器給食設備見学

研修期間	研修者氏名	所属	研修名	研修場所	備考	開催者	内容
11月13日～11月13日	1日間	特養	部長・副部長会議	ビッグパレットふくしま	10:00～12:00	県老施協	平成26年度事業（後半）の予定について
11月13日～11月13日	1日間	特養	タウンミーティング   N福島	ビッグパレットふくしま	14:00～17:00	県老施協	現場からの問題提起他
11月14日～11月14日	1日間	特養	平成26年度社会福祉法人福島県社会福祉協議会老人福祉協議会「生活相談員研修」	ホテルサンルート白河	13:30～16:30	県老施協	生活相談員の役割を再考する
11月14日～11月14日	1日間	在介	平成26年度福祉サービスに関する苦情解決研修（応用編）	郡山ユラックス熱海	10:00～16:30	県社協	苦情解決制度の意義の本質
11月19日～11月19日	1日間	特養	第68回福島県社会福祉大会	福島県文化センター	14:20～	県社協	福祉大会永年勤続表彰等
11月21日～11月21日	1日間	特養	平成26年度福島県社会福祉協議会老人福祉協議会災害相互協定にも基づく避難訓練	宮川荘	9:30～12:15	県老施協	災害の想定について他
11月24日～11月24日	1日間	特養	第10回正副会長・委員長会議(拡大)	JRホテルクレメント高松	15:00～17:00	全国老施協	主催者交流会
11月25日～11月26日	2日間	特養	平成26年度全国老人福祉施設研究会議	サンメッセ香川	11:00～15:30	全国老施協	地域のために” 打つ手を尽す”
11月25日～11月26日	1日間	特養	平成26年度県老施協介護職員（4年以上）研修	ホテル福島グリーンパレス	13:30～11:00	県老施協	摂食嚥下障害治療とリハビリテーション他
11月25日～11月26日	1日間	特養	平成26年度県老施協介護職員（4年以上）研修	ホテル福島グリーンパレス	13:30～11:00	県老施協	摂食嚥下障害治療とリハビリテーション他
12月1日～12月1日	1日間	特養	指定病院等における不在者投票事務説明会	南相馬合同庁舎	13:30～14:30	福島県選挙管理委員会	第47回衆議院総選挙の事務日程について
12月2日～12月2日	1日間	特養	静岡県災害福祉ネットワーク視察研修会	県社協	10:00～12:00	県老施協	視察研修受入対応
12月9日～12月9日	1日間	特養	老人福祉施設協議会 役員会・復興委員会	県社協	13:30～	県老施協	組織体制の見直し他
12月11日～12月12日	2日間	特養	平成26年度カントリーミーティング東北 in 宮城	ホテル松島	12:30～12:00	県社協	つくろう介護から新しい日本
12月12日～12月12日	1日間	特養	平成26年度福祉法人理事研修	郡山ユラックス熱海	13:30～16:00	県社協	今、社会福祉法人に求められるもの
12月12日～12月12日	1日間	特養	平成26年度福祉法人理事研修	郡山ユラックス熱海	13:30～16:00	県社協	今、社会福祉法人に求められるもの
12月14日～12月14日	2日間	特養	福島県外からの福祉・介護人材確保支援事業就職フェア（東京会場・仙台会場）	ザターミナル	11:00～17:00	県社協	福島の福祉の今を考へ体感できる
12月15日～12月15日	1日間	保育所	子ども・子育て支援新制度事業所向け講演会	南相馬合同庁舎	13:00～15:45	福島県子育て支援課	認定こども園への理解を深める
12月15日～12月16日	1日間	特養	第17回総会	東京プリンスホテル	13:00～17:00	全国老施協	平成27～28年度代議員選挙について
12月18日～12月18日	1日間	特養	いいたて子育て支援センター「すくすく」開所式	あづま脳外	10:00～	飯館村	子育て支援センター開所式
12月19日～12月19日	1日間	特養	平成26年度飯館村介護保険運営協議会（第1回）	飯野出張所	15:00～	飯館村	第6期介護保険事業計画
12月20日～12月20日	1日間	特養	日本感染管理ベストプラクティス研修会 7/6、9/7、12/20 全3回	JA郡山市会館	10:30～16:30	日本感染管理ベストプラクティス事務局	感染管理の基本他
12月24日～12月24日	1日間	特養	社会福祉法人福島県社会福祉協議会評議員会	県社協	13:00～14:30	県社協	平成26年度事業中間報告について
12月26日～12月26日	1日間	特養	福島県指定介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の入所に係る指針改正にかかる作業部会（第1回）	県社協	13:30～	県社協	指針改正に向けたスケジュール
12月27日～12月27日	1日間	特養	福島県外からの福祉・介護人材確保支援事業就職フェア（東京会場・仙台会場）	ガーデンシティ仙台	11:00～17:00	県社協	福島の福祉の今を考へ体感できる
1月13日～1月13日	1日間	保育所	平成26年度相双地域発達障がい児支援者スキルアップ研修会	相双保健福祉事務所	13:15～	福島県相双保健福祉事務所	「気づきと支援」ガイドラインの活用について
1月20日～1月20日	1日間	特養	年始知事懇談会	知事公館	12:00～	県社協	年始知事懇談会
1月21日～1月21日	1日間	特養	第11回正副会長・委員長会議(拡大)	都道府県会館	15:00～17:30	全国老施協	情報分析、各委員会事業の推進について（報告）等
1月23日～1月23日	1日間	特養	飯館村伊丹沢太陽光発電所起工式	いいたてホーム	12:00～	飯館電力（株）	起工式
1月27日～1月30日	4日間	特養	平成26年度福島県介護支援専門員更新研修	ビッグパレットふくしま	9:30～17:00	県社協	介護保険制度の理念と介護支援専門員他
1月27日～1月30日	4日間	特養	平成26年度福島県介護支援専門員更新研修	ビッグパレットふくしま	9:30～17:00	県社協	介護保険制度の理念と介護支援専門員他
1月30日～1月30日	1日間	特養	老人福祉施設協議会復興委員会並びに東電に対する要望書作業部会	県社協	13:00～15:00	県社協	運営内規の見直しについて
2月4日～2月4日	1日間	特養	平成26年度相双地区特別養護老人ホーム連絡協議会並びに施設長会議	福島ビューホテル	15:30～11:00	相双地区特連	平成26年度事業報告（経過）について

研修期間	研修者氏名	所属	研修名	研修場所	備考	開催者	内容
2月10日～2月10日	1日間	特養	第12回正副会長・委員長会議(拡大)	ホテルルポール麹町	14:00～17:00	全国老施協	情勢分析、各委員会事業の進捗について(報告)
2月10日～2月10日	1日間	特養	平成26年度第3回総務・組織四役会	塩崎ビル	17:30～18:30	全国老施協	平成26年度事業の進捗状況について
2月12日～2月12日	1日間	特養	東北ブロック老人福祉施設協議会災害時相互支援協定締結式	宮城県庁	15:00～15:30	東北ブロック老人福祉施設協議会	災害協定締結式
2月20日～2月20日	1日間	在介	平成26年度県中保健福祉事務所主催現任認定調査員研修会	ビッグパレットふくしま	14:00～16:00	相双保健福祉事務所	介護保険制度の運営状況
2月19日～2月20日	2日間	特養	平成26年度福島県社会福祉協議会老人福祉施設協議会第2回総会並びに施設長会議	八幡屋	13:30～	県老施協	高齢者施設におけるリスクマネジメント
2月24日～2月24日	1日間	特養	第13回正副会長・委員長会議(拡大)	都市センターホテル	14:00～17:00	全国老施協	情勢分析、各委員会事業の進捗について(報告)
2月27日～2月27日	1日間	特養	第20回日本集団災害医学会総会・学術集会演者	たましんRISURUホール	13:30～15:10	第20回日本集団災害医学会総会	「東北に学び首都直下・南海トラフに備える」東日本大震災の知見
3月2日～3月2日	1日間	特養	平成26年度福島県社会福祉協議会福祉施設協議会経営者協議会総会	ビッグパレットふくしま	13:00～14:15	県社協	平成26年度事業中間報告及び収入支出補正予算(案)について
3月2日～3月2日	1日間	特養	平成26年度福祉人材確保推進セミナー	ビッグパレットふくしま	14:30～16:00	県社協	職員の育成と定着から見る経営戦略
3月3日～3月5日	3日間	特養	平成26年度福島県介護支援専門員更新研修	ビッグパレットふくしま	9:30～17:00	県社協	介護保険制度の理念と介護支援専門員他
3月3日～3月5日	3日間	特養	平成26年度福島県介護支援専門員更新研修	ビッグパレットふくしま	9:30～17:00	県社協	介護保険制度の理念と介護支援専門員他
3月9日～3月9日	1日間	特養	平成26年度経営戦略セミナー(東会場)	TIME24ビル	12:00～17:50	全国老施協	社会福祉法人戦略及び時期介護報酬改定対応と戦略
3月9日～3月9日	1日間	特養	平成26年度経営戦略セミナー(東会場)	TIME24ビル	12:00～17:50	全国老施協	社会福祉法人戦略及び時期介護報酬改定対応と戦略
3月13日～3月13日	1日間	特養	平成26年度第4回常任理事会	ホテルメトロポリタン	10:00～12:00	東北ブロック老人福祉施設協議会	平成26年度事業実施状況及び収支決算見込について
3月13日～3月13日	1日間	特養	人手不足解消と新調理システム紹介	タニコー福島小高	4:30～17:00	みやぎ保健企画セントラルキッチン	新調理とこれからの食サービスの考え方
3月13日～3月13日	1日間	特養	平成27年度介護保険制度改定説明会	サンライフ南相馬	13:30～16:00	介護保険室	平成27年度介護報酬改定等について
3月13日～3月13日	1日間	特養	平成27年度介護保険制度改定説明会	サンライフ南相馬	13:30～16:00	介護保険室	平成27年度介護報酬改定等について
3月13日～3月13日	1日間	特養	平成27年度介護保険制度改定説明会	サンライフ南相馬	13:30～16:00	介護保険室	平成27年度介護報酬改定等について
3月13日～3月13日	1日間	在介	平成27年度介護保険制度改定説明会	サンライフ南相馬	13:30～16:00	介護保険室	平成27年度介護報酬改定等について
3月16日～3月16日	1日間	特養	第14回正副会長・委員長会議(拡大)	都市センターホテル	14:00～17:00	全国老施協	情勢分析、各委員会事業の進捗について(報告)
3月20日～3月20日	1日間	特養	相馬地方に介護福祉士養成学科をつくる会全体会議	福寿園	13:30～	相馬地方に介護福祉士養成学科をつくる会	事業活動報告について
3月24日～3月24日	1日間	特養	第18回総会	東海大学校友会館	14:30～17:00	全国老施協	資産運用計画(案)について
3月25日～3月25日	1日間	特養	飯館村地域包括支援センター運営協議会	飯館村役場飯野出張所	13:30～15:00	飯館村	平成25年度事業報告について
3月25日～3月25日	1日間	在介	飯館村地域包括支援センター運営協議会	飯館村役場飯野出張所	13:30～15:00	飯館村	平成25年度事業報告について
3月26日～3月26日	1日間	特養	社会福祉法人福島県社会福祉協議会評議員会	県社協	13:00～14:30	県社協	平成26年度一般会計資金収支第3次補正予算(案)について
3月30日～3月30日	1日間	特養	平成26年度第3回理事会	ショウケイ本館ビル	16:00～17:00	東北ブロック老人福祉施設協議会	平成26年度事業実施状況及び収支決算見込について